京城日報

二十八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

定價本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]
印刷人 小川三之助

○過激派最後の一齣 哈爾賓平穩に歸せん

二十六日朝の露過激派軍隊と支那軍隊との戰鬪は過激派軍が八百の銃器と七萬二千發の彈丸を引渡したる爲め終結したるが此の戰鬪に於て支那兵は五門の野砲と八門の機關銃とを配置し國民大隊の兵營及び停車場を中心として包圍し盛んに銃火を交へ其の際支那軍は二名の死者三名の負傷者を出し過激派軍は大隊長以下三十名の死傷を出したるが、折柄通り蒐りたる三名の露西亞人及び三名の支那人流彈の爲めに倒れたり尚ほリウチン勞兵會長スラウニン同副會長は前夜より行衛不明となりたるが露領へ逃走せりとの說實際なる可く又過激派軍人は二十七日朝より露領へ放逐されつゝあり此の戰鬪は日に勢力を失墜しつゝある過激派最後の一幕ともいふべく斯くして過激派は根本的に殲滅せられ革命以來の鐵道對過激派の爭鬪は遂に茲に終熄を告げたるが更に之より局面は展開し將來軍隊撤退問題に關し或は露支兩國間に紛議を起さずやと懸念する者あるも今の處斯かる形勢は毫も認められず尚此の戰鬪に於て我總領事館附近に流彈多數落下せしも在留邦人には何等被害なく唯交通遮斷の警戒線を潜らんとせし我警官一名及び邦人三名が支那兵の爲めに毆打されたるのみ要するに今後哈爾賓は愈平穩に歸す可き情勢なり（哈爾賓特電）

○軍需品製造廢止

露國人民委員は勞働者一般に對し軍需品の製造は國家の浪費に外ならざるを以て直ちに之れを廢し之れに代ふるに人民に必要なる物品の製造を爲す可しとの布告を發したり（ベルン電報）

○宜昌上流の激戰

揚子江上流宜昌重慶間に於て南北兩軍の間に激戰ありたり（上海電報）

○汕頭討伐軍進軍

汕頭討伐軍は今や福建に肉薄しつゝあり（上海電報）

○山東省和議提唱

山東省議會は委員を湖北外七省に派遣し南北の和議を提唱する事とせり（濟南電報）

京城通過の林駐支公使（廿七日夜南大門驛にて）

○奉答文捧呈

貴族院、衆議院兩議長は二十八日午前十一時參內德川侍從長內山侍從武官長侍立の上鳳凰の間にて 天皇陛下に拜謁仰付られ兩議長より各院に於て議決せる開院式勅語奉答文を捧呈 陛下には御受納の上兩議長に對し左記の如き優渥なる勅語を賜はりたり

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

（衆議院にも右同樣）

兩議長は闕下を拜辭し直ちに各院に歸還奉答文捧呈の顛末を報告したり（東京特電）

◎御眞影拜戴式

二十八日午前十時總督府總督室に於て今回高等法院、京城覆審法院、京城地方法院、總督府醫院、仁川稅關及び中樞院、京城南大門小學校に御下賜相成りたる御眞影拜戴式を擧行したり

◎辭令傳達式

總督府にては二十八日午後一時三十分總督室に於て檢事草場林五郎氏以下昇等陞級者五十九名及び敍位者十七名に對し敍位及び陞等陞級辭令傳達式を行ひ山縣政務總監より其々辭令の傳達ありたり

▲判任官以下昇級 二十八日午前總督府並に各官署判任官一千九百八十四名及び總督府雇員二百五十八名に對し夫々昇級辭令の交附ありたり

◎官署御用納式

▲總督府 二十八日午前第一會議室に各高等官參集長谷川總督臨席の上御用納式を擧行せしが山縣政務總監は職員一同を代表し本年も諸般の政務頗る多忙なりしも各員匪躬事に膺り豫期の進捗を見たり茲に御用納式を擧行するに當り右一同に代りて報告す

と述べ長谷川總督は諸子の勉勵克く政務の進捗を見しは欣ばし來年は一層の奮勵を望む

と對へて式を閉ぢ其れより各部局長官は各役室に於て部下職員より御用納の挨拶を受け了りて一同退廳したり

▲遞信局 二十八日正午會議室に高等官一同集合持地長官より御用納に關する一場の挨拶あり伊藤海事課長一同を代表して答辭を述べたり

▲土地調査局 二十八日午後二時半食堂に高等官、判任官參集和田總務課長より御用納に付一場の挨拶ありたり

▲總監部 憲兵隊司令部警務總監部にては廿八日午前各課長以下高等官全部を總監室に集め古海警務總長より訓示あり一同御用納めの式を擧行せり

▲京畿道廳 午後二時各部主任一同會議室に參集松永長官の訓示あり式を終れり

▲京城府 午後三時金谷府尹一場の訓示を與へ式を終了せり

◎對敵通信禁止 二十八日より範圍擴大

敵國人との通信取締に關する改正府令は二十八日發布即日より施行されしが其要點に付當局者は曰く該改正は第二條及び第四條に於て敵國人とあるは從來獨墺勅土等の敵國人のみとの間の通信を禁止され居りしを二十八日以降敵國人に該當する商取引令の第二條の各項に該當するものとなせしものにて乃ち範圍を擴張し敵國法人、敵國內に居住する者又は敵地內に於て事業を營む事を主たる目的とする者の事業の全部又は一部が敵國人の勢力の下に置かるゝものとして農商務大臣の告示したるものとなれる也

◎朝鮮線發送預 庫內保管も取扱ふ

朝鮮線に於ける運送貨物の發送預りは從來庫內保管の場合は總て取扱を爲さず野積保管の場合も內地行貨物は其の申込に對し運送を受諾する迄は發送預りの取扱をなさゞりしが[illegible]は現今の如く停貨の甚だしき場合に之が救濟策として適當の制度に付本月二十七日以降當分の內野積保管共總て普通倉敷料を受け運送の申込と同時に其の取扱を爲し以て發送預りの效力を充分に發揮せしむるに在り

◎辭職說は和製だよ 駐支公使 林權助男爵の談

二十七日京城通過歸東せる林駐支公使を京義線の一驛に出迎へて最近支那の時事を質す、其要に曰く

▲支那の出兵 哈爾賓に於ける露支兵の衝突は、アレで片着くだらう、同市で亂暴を働く露兵は二千名內外に過ぎないのだから縱し今後多少騷いでも此の上支那兵增派の必要はあるまい、支那の出兵については無論北京駐箚露國公使の承諾を得たので、秩序維持の爲め已むを得ないと思つたから我輩も勸めたのサ

▲北滿回收說 然樣支那が北滿に於て、從來露國に割讓して居た總ての利權を回收したいといふ意見を發表したものもある樣だね、併しながら其は困難だらう、無論東淸鐵道を買取るなどは出來ない相談だらうよ

▲支那の紛爭 世間では南北の爭ひとか云つてゐる樣だね、が原因は强ち南北思想の相違から來たものでも無からうよ、國會の復活なぞは大した問題でもあるまいよ、要するに治政家軍人等の勢力爭ひに外ならないのだ、而して其勢力たるや南北交錯して相結び相乖くといふ有樣だから南北に分けるのも可笑しいし、又所謂南方派にしても北方派にしても其主義主張を堅持する譯でも無いから、夫れ結局勢力爭ひといふことに成るだらう

▲支那は可解 何れの國情でも、之を遼視すれば不可解、之を熟視すれば可解サ、若し又是非人間の事一つとして不可解ならざるは無しだらう、自分一個の身上でも解らないといふ方が眞實だらう、支那の國情も其通りで、皆なが不可解にして了ふのだよ、ナーニ解つてゐるよ、現在の紛爭の原因は前に云つた通りだし、其結果も想像が出來る、結局此方許りヤキモキせぬ方が可いよ

▲民政署問題 山東省の一角に、日本政府が民政署を設置したことに對する支那の抗議は、何うしたものかといふのか、吾輩は知らない、如何に落著するかも判らない、支那政府が抗議の理由ありと考へたものか、若くは抗議の餘地が無いでもないと思つたものか、吾輩頓と見當がつかない、本國政府の意思も推測は出來ない

▲日支の親善 之れは實に必要だね、是非日支の親善を進めなくてはならない、何に？今は不親善かつて、否、僞うぢやないか、曾ては餘り親善で無かつた時代もあるから、先づ夫れを繰返へさない用意が肝腎なのぢや

▲和製辭職說 吾輩に辭意があるといふ風說は、吾輩も聞いた、併し本人は知らない、但し公職に在る者は進退は寸前を豫測することすら無謀といふべきものだから、吾輩と雖も、明日のことは分らないが、今日の處では東京滯在二週位にして歸任の心組みである、彼の風說の起りは、大方大阪か東京で誰れか夢でも見たのだらう、北京からの報道だらうといふのか、何の他愛も無い和製サ

◎鑛業出願注意

農商工部鑛務課に就き鑛業出願の狀況を聞くに歐洲戰亂以來鑛業出願は益々增加し本年に至りて一箇月平均五百餘件の新出願あり戰前一箇年の出願總件數に匹敵し鑛務課にては之が急速處分に忙殺され目下處分延滯八千餘件を算するに至れり尙右の[illegible]事由は同一區內に多數の鑛業出願あり相互の出願地の境界判明せざるに基くが如し斯る地方の出願に對しては吏員を派し實地檢測の上各出願區域の關係を確めたる後處分するを慣例とせるも目下の如く鑛業出願の激增に對し現在の少數吏員を以て一々之が檢測を爲すは多大の日子を要する所なるを以て鑛業出願人に於て此際自己の出願地域を土地調査局の測量に基く五萬分の一地圖（該地圖の出版なき所は陸地測量部出版の五萬分の一圖に依る）に圖示し該圖面を添へ届出づるときは鑛務課に於ては各出願區域相互の關係調査上の便宜を得て臨檢を俟たずして急速處分せらるゝもの多かるべしとのことなり

◎東拓鑑定改正

由來不動產金融は擔保物の鑑定並に登記の手續き等に幾多の手數を要し素より之れを商業金融に比すれば其の可否の決定に多くの時日を要するは勿論なるも東拓金融部にては今回擔保物鑑定規則の改正を行ない其の手續を從來より簡略ならしむる事に決定目下該改正案は總督府に認可申請中に付其の施行を見ば一部に於て東拓金融部に對し放ちつゝありし鑑定遲延に過ぐの批難は消失し一般資金需要者の利益多かるべしと

◎東拓滿九周年

東洋拓殖會社京城支店にては二十八日同社創立以來滿九周年に相當するを以て正午川上理事は社員一同を食堂に集め社務の發展に伴ひ今後一層各員の奮勵努力を希望する旨の演示をなし右に對し笹岡支配人は一同を代表して答辭を述べ後立食の宴を開けり

◎警務部長異動

平安南道警務部長兼平壤憲兵隊長たりし憲兵中佐藤元二郎氏病氣辭職をなせしより憲兵隊司令部高級副官たりし憲兵少佐六橋常三郎氏は二十五日附を以て中佐に進級し平安南道警務部長兼平壤憲兵隊長に任ぜられ其後任には憲兵隊司令部副官憲兵大尉太田淸松氏二十五日附を以て少佐に進級して高級副官に任ぜられ京城憲兵分隊長憲兵大尉小山田衞氏は司令部副官に轉任し小山田大尉の後任としては鏡城憲兵隊附憲兵大尉宗安作氏京城憲兵分隊長に轉じ宗安大尉の後任には淸州憲兵隊附有馬精秀氏鏡城憲兵分隊長に轉じ有馬大尉の後任として公州憲兵隊附[illegible]淸州憲兵隊附に轉じ其他中尉級にも二三の異動ありたり而して嚢に內地に轉任を命せられたる慶尙南道警務部長たりし憲兵少佐[illegible]明氏の後任には[illegible]中村孝三郎氏任命されたり

◎臺紙附切手 好況

臺紙附郵便切手は發賣以來一般の氣受頗る良好にして賣行き頗るよく當局にては其の印刷に逐はれ居るが暇木浦平壤地方は手形補助貨不足の緩和を見たる形跡あるも新義州群山方面は依然臺紙附切手の請求多しと

◎年賀郵便增加

年賀郵便の特別取扱は二十九日を以て之れを締切る事となり居れるが其の各局に於ける取扱數は未だ不明なれど大體に於て頗る增加の模樣なり現に光化門郵便局の取扱のみを見るも二十六日までの所引受けは昨年より四割以上到著は二割以上の增加を示し居れり尚ほ同局の統計より見ればハガキの賣行は非常の增加なれど一錢五厘切手は比較的少なしとの事なるが之れ私製葉書を用ゆる者減じ官製葉書使用者增加のためならんと

◎米國の造船計畫

米國に於ける一千九百十八年度の造船計畫は最小限度五百萬噸なり（紐育電報）

◎ヂエリコ提督 軍令部長辭任

ヂエリコ提督はウエミッスに軍令部長の職を讓り同時に勳功に依り貴族に列せられ提督は新たに要職に補せらる可し（倫敦電報）

◎貨客運賃改正

日滿連絡旅客手荷物及び貨物運賃改正せられ一月一日より施行さるべし（東京電報）

◎豫算委員長

衆議院豫算委員長には政友會の小川平吉氏當選せり（東京電報）

◎上海取引所認可

上海取引所は二十六日認可されたりとの報あり（大阪特電）

◎林公使釜山著

林駐支公使は二十八日朝釜山に著したるが汽車三時間延著し連絡船に接續せざる爲め鳴戶旅館に休憩し同夜連絡船にて東上の筈（釜山特電）

◎長官會議休會

二十八日は長官會議の定日なりしも御用納當日なりしを以て休會と爲れり

◎大阪財界通信

▲小銀行の合併 近來財界の規模頗る大するに伴ひ金融取引關係亦大規模となり、二流以下の銀行は營業上困難しつゝあり、就中中流銀行は其の規模の關係上一流銀行並みの營業をなす能はず、さりとて小銀行に倣ひて高利貸的の營業方針を採る能はず、又一流銀行の如く多額の資金と確實の信用を有せざるため、最少の利鞘に甘んじて多數の取引により收益を增大する餘裕なし、貸出も延滯の窮迫なる方面は一流銀行に占められ、資本固定して運轉資金乏しくなり利鞘は益々減退する一方にて、一度金融界の變動に際しては最も早く影響を蒙むる實情なり、營業不況をつゞけ基礎の危殆に瀕して狼狽し合同の形式を以て安値に他銀行に買收せらるゝが如きは銀行自身の大不利なるのみならず亦金融界に波及する所あるを以て中流銀行同志の合併を計畫するは有利安全の方法にして最後の對應策としても最も必要也

▲住友林業經營 住友家は各方面に非常の努力を以て大發展を遂げ鑛業、炭鑛の經營に當りつゝ準備中にして本邦は勿論支那、朝鮮に亘り發見し大規模の調査を爲し一面各種機械類の製造を企畫し支那印度南洋方面に供給せんと其準備中にして程なく機械工業部の創立を見るに至るべく又一方本邦の有名なる林產地を調査し盛んに森林の買收を爲し林業に於て大規模の計畫を立て其第一歩として林學並に實驗に豐富なる人物を物色し曩に鴨綠江採木公司長たりし林學博士村田重治氏を招聘し此事業の主腦者に定めたり

▲石炭酸一段落 大阪各市場一般に亙り思惑的取引盛んなる趨勢は藥品界にも波及し石炭酸、酸加里の如き重なる思惑品となりたるが石炭酸の如きは特に思惑熱高く一時最高三圓臺に騰り上ぐると共に十月各市場暴落の波動を受け賣方の此機に乘じて猛進したる結果買方の賣退けと相俟て慘憺たる暴落を演じ一時一圓臺を割らんとして約二圓下げの値鞘に安値の買煽り現はれ又上向きとなり一圓五十錢內外に漕ぎ上げたるも物價調節の爲め其腰を折られ目下相場は針付けの狀となり既往の高値三圓以上を的とせし硬派も氣拔けして市況閑散を極め居れりと（大阪支局）

◎久保理事歸任

大連に於ける滿鐵重役會議に列席のため出張中の京城管理局長久保要藏氏は二十八日午後八時五十分南大門驛著の鮮滿直通列車にて歸任す

人事消息

◎商武事務官令息訃 總督府事務官商武公美氏令息正明氏（當歲）は此程病氣にて死去せりと

▲宮崎貞一氏（警務總監部會計課長）二十七日午後大田より歸任

▲慶松勝左衞門氏（藥學博士、滿鐵中央試驗所長）二十八日午前京城通過大連へ

▲吉田英三郎氏（東拓參事）石塚總裁一行を釜山に送り二十八日午後九時著歸京

▲龍居頼三氏（滿鐵理事）二十八日夜入京

□東京より 在京 一記者

歐洲出兵論（七）

○顧て東部戰線の輸送如何と顧れば露國は曩に日本出兵を喜ばざるのみならず既に獨墺諸國と休戰を約し更に進みて單獨講和の交涉を開始するの準備に著手しつゝあるに於て我が帝國の出兵を要せざるや明白也。向後若し我が帝國にして其の出兵の必要とすることありとせば却て露國が獨墺と提携して聯合國を敵視し我が帝國を敵視する場合たらざる可からず。

○左れど假りに露國に於ける穩健的中產階級の國民過激派政府を改造し露國の民衆を統一し再び戰鬪的能力を回復し戰爭繼續を遂行する場合ありとし日本の出兵範圍を論ぜむに露國は先づ西比利亞幹線を日本の爲に提[illegible]を容れざる可からず[illegible]管理の條件成るもの[illegible]送力を傾注して、十二[illegible]するに一個軍團に百列車[illegible]が故に假りに一箇月に一[illegible]づゝ輸送し得るもの[illegible]にして一個軍團を輸送[illegible]も十個軍團は四十日[illegible]ざる可からず。左れ[illegible]糧食を前送せるに[illegible]彈藥等補給の爲に軍隊[illegible]食彈藥列車と相混合[illegible]る可からざるが故に[illegible]の間に於ける十個軍團の[illegible]りに豫定の如く遂行せ[illegible]とするも約七十日間[illegible]からず。而も更に[illegible]港若くは大連灣に[illegible]すれば三箇月以內に[illegible]能はざる也。

○露國が極東唯一の[illegible]烏港の聯鎖たる西比利[illegible]が日本軍隊のみの輸送に[illegible]ものとすれば日本の[illegible]ずしも不可能なりとせざる[illegible]實際問題として露國[illegible]關門を閉鎖し軍需品其の他[illegible]線を杜絶し長歲月の間日本[illegible]輸送に提供するが如きは到[illegible]ざる可からず。故に[illegible]少なくとも西比利亞鐵道輸送力の一[illegible]年は之を露國の生存の爲めに必要を[illegible]箇年以上の長時日を費すにあらざれば能はざるを知るべき也。

○以上は是れ露國復活[illegible]の將來あるものとしての[illegible]と雖も現在の露國は獨[illegible]て中心力無き露國也[illegible]を失したる露國也。休[illegible]的講和を希望しつゝある露國[illegible]實際問題よりすれば[illegible]國の爲に露國の援助に[illegible]からざる位置に在るの[illegible]露獨提携の場合あるもの[illegible]は萬一の變に警戒せざる可[illegible]故に日本の東部戰線出兵[illegible]日に於て不可能なりとせ[illegible]らざる也。

○巴爾幹方面の出兵問題[illegible]大統領ルーズヴエルトの[illegible]にして比較的可能的方面なる[illegible]と雖も巴爾幹戰線は支[illegible]助として主作戰の方面に[illegible]出兵するとするも聯[illegible]つて我が帝國が萬難を排して之に[illegible]反對せざるを以て吾人は之れ[illegible]反對せざるを得ざる也。

◉給水制限 廿八日から

水道使用量が遽かに激增した

歲末に近づいたのでお正月の用意やら大掃除やら餅搗きやらで水道の水を使ふ事が晝夜の別なく昨今著るしく使用水量の增加を來たした京城鐵道水道課では愈て京城水道が其の

◎給水戶數に 對して給水能力の不足を感じて居る所であるから餘程前から係員總出で寒氣に因る故障や給水栓の監視やらうかして年內丈けは斷水等の厄に遭はない樣と

◎大いに努力 する所があつたけれど昨今の使用水量激增には奈何ともする事が出來ず既に昨日あたり四十五萬立方尺餘の給水能力に對して殆んど冒險的の給水に努め約四十九萬六千立方尺の給水を斷行したと言ふ事であるけれども已に其れ以前十六日の激寒當時から

◎幾分の故障 も伴つて居るし夫れ以來日々最大限度の給水を爲し四十七萬立方尺內外の配水を爲しつゝあつたのである其の上に引續き昨日四十九萬六千立方尺と云ふ破格な給水量を示さねばならぬ破目に陷り配水池の水位は

◎四尺內外を 最低として八尺を最高とする位になつて仕舞つて居るので當局では止むを得ず二十九日より當分の內給水を制限する事とした相である卽ち午前は六時給水開始十一時給水停止、午後は四時給水開始九時給水停止と言ふ事である二十八日は

◎正午前後を 停水し尙夕方二三時間給水する事にしてあつたが午後一時過ぎ迄は給水を續ける事が出來た樣である。尙給水を制限すると土地の高低及び水量の關係等に由り吐水時間に多少の遲速は免れまい、全く

◎今回の斷水 は年々京城都市の發展に伴ふて給水戶數の增加すると同時に水量の不足を來たしたる結果に外ならない水道當局でも年內丈けはどうにでもして給水を續行し樣と隨分努力する所があつたけれども配水池水位の下降と制限されたる給水能力には奈何ともする事が出來ないと言て居る

◉龍山の量目調べ

桝目切れが大分有つた

龍山憲兵分隊では二十六日管內各憲兵出張所で雜貨屋の持ち運んである食料品の內酒醬油のやうな液體物を除き米味噌砂糖乾物類といつた品々の量目檢査を行つた、其の檢査を受けた人員は百二名で六百十二點に達してゐる、一般の成績から見て大抵は公定の數量であつたさうだが白米一斗の中に二合切れてゐるものが二十件、一斗五升の中に三合切れてゐるものが十二件、二斗で五合切れが三件あつた、砂糖は一斤が五匁切れ二十二件、二斤に十匁切れ十四件、味噌は百匁に三匁切れが三十件で夫れ以上は殆ど無かつた、然るに砂糖の中に五斤入りだといふ箱詰めがあつたが其の正味は四斤丈けしか無い其の申譯に依れば一斤は箱代に差引くのださうな

□伏見博義王 支那朝鮮御航海 御取罷めとなる

練習艦隊磐手に御乘組中の伏見博義王殿下には同艦に於て各將卒と共に軍務に御精勵中なりしが微恙に罹らせられ佐世保海軍病院に御入院御靜養の事に御決定あらせられたる爲め支那竝に朝鮮近海御航海の事は御取罷めと相成りたる旨洩れ承る

◉明太漁場の賑はひ

一年の水揚高百萬圓に上る

朝鮮東海岸の漁況視察の途にありし水產課長谷多喜磨氏は二十四日歸任したるが北鮮の談に曰く

成鏡南道から江原道沿海の漁業狀況を視察したが何と言つても成南の明太漁業は盛んなもので北青郡を中心とする

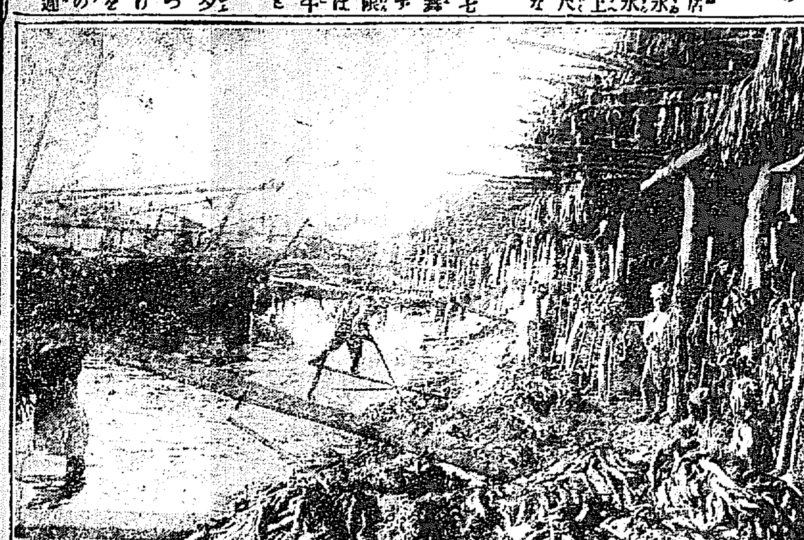
◈百里の沿海 には十餘箇所の漁場があり一年の漁獲は實に百萬圓に上り從事船は新浦馬養島遮湖等の三四百艘を主として約二千艘漁夫は一萬人以上に達して居る就中明太漁場の中心地とも目さる可き新浦には德と言つて一棚百坪以上もある明太乾燥場が百五六十もあつて

◈盛漁期に入 ると明太の隧道、明太の山を築き紛々たる魚の臭は腸にまでも泌込むかと思はれる程である、棧橋も三十以上かあるが德と同樣漁村の設備としては頗る完備したもので家屋の綺麗な事や水揚から

◈市場に出す までの間には其の分業組織が恐ろしく複雜になつて居る狀態はとても內地で見る事が出來ない從漁者一萬以上の中成鏡南道沿岸の居住者は僅かに二割で他は悉く江原道其他の方面から移漁し來るものゝみであるから水揚百萬圓と稱せられても其の悉くが成鏡南道を潤すのではない道當局に在りても

◈之を遺憾こ して居るが然し年々地方民が明太漁業に依つて受くる處の利益は大なるものであるから現に勞働組合なども出來て居つて多數の地方民は裕福な生活をして居る明太油の製造も盛んになつた近頃內地人が肝油ドロップス原料精製に著手したなど年々

◈產業が開發 されて行くのは喜ぶ可きである勞働者の賃金は運搬乾燥荷造などに從事するものは五六十錢で本は明太の腸を拔いて卵を所得するが相當の收益になる面白いのは乾燥に從事する人夫は作業しながら明太の眼玉を拔いて吸つて居るが味が宜いので喰餘つた眼玉は酒幕に賣つて居る



□明太の新浦 明太の盛漁期に入らんとする成鏡南道新浦は昨今漸く漁獲物增加して俄に殷賑されし明太の累々たる光景は奇觀を呈しつゝあり

◉御慰問使歸著

海軍御用船阿波丸は二十七日神戶に著し艦隊御慰問使四竈大佐歸東上せり（神戶特電）

◉何故汽車が 遲れるか

此頃汽車がよく遲れる、急行列車も二時間三時間或は四時間も遲延する、何故さう遲れるかと云ふに色々あるが(一)關釜間連絡船が冬期海上の風波穩やかでないため釜山著が定時より遲れる從つてそれを連絡するために釜山に於ける汽車の發を延べる事となる(二)此頃のやうに寒いと

▲給水槽の水が 凍る、乃ち汽車は約一時間か二時間越して行くに主要驛で水を汽罐車にさして色々の方法で凍らせないやうにして居るが、から[illegible]ちや其の防凍方法を打敗かし水はズン／＼凍る、それでイザ給水となつても神々凍つた水を入れる事だからとかすのに暇が入る、從つてそんな

▲事故が三四回 も續くと汽車は大變增延を來す(三)此頃は各驛共米豆の出荷が多いので其の混合列車の貨物列車の積込みや荷卸しに所定以上の時間が要る、從つて其の混合や貨物と行き合ふ旅行列車も段々遲れるの止むを得ざるに至ると云ふ事になるのである

◉絹糸成金 疑獄事件豫審

名古屋の絹絲成金係友商店の疑獄事件は豫審終結し橫領、恐喝、詐欺共、悉く有罪と決定せり（名古屋特電）

◉消防隊出初式 一月四日午前十一時より

京畿道警務部所屬各消防隊の出初式は一月四日午前十一時より總監部東方の廣場に於て例年の如く擧行さる、先づ人員機械の點檢に次ぎ警務部長の訓示あり終つて前記の場所に組立てたる十餘間の二階建の假設家屋を建築し發火と共に救助袋を使用して罹災者の救護竝に防火等を實演する由一般の參觀隨意なりと

◉並木町の火事

二十七日午後八時五十分頃京城並木町二百七十六番地織物商社李康賢所有物置小舍より發火し一棟にて溫突三間を半燒せしも常備消防隊が出動して同九時三十分頃消止めたり損害約二十圓原因は下女某が炬燵に浦團を掛けたる儘外出しゐたる間に發火したるもの

◉北陸地方稀有大雪

汽車全く不通 屋上積雪八尺 雪崩のため多數生埋となる

北陸地方稀有の大雪猶歇まず屋上八尺の積雪の箇所あり汽車の運轉全く休止せり、石川縣尾小屋鑛山雪崩のため生埋即死十名蘇生十二名家屋倒壞九戶に及べり又機關車三四臺にて線路の雪を取除け居れど活動の効果全く無し北陸線開通以來の大雪なり（大阪特電）

▲列車十六臺立往生 北陸線は雪猶歇まず十五驛にて列車十六臺立往生し千六百七十一名の乘客に對し炊出を爲しつゝあり（大阪特電）

◉漁民困窮す 慶北盈德郡は本年秋以來不漁續きにて[illegible]賃借せる漁船漁具等を擔保に[illegible]を借り入れ[illegible]警戒しつゝあるが如き同地漁場[illegible]不漁にて[illegible]に窮し居[illegible]

◉亂暴者 達城郡公山面坪谷里居住の農西搭鉉(□○)は昨年十[illegible]金四圓二十錢を支拂はざるより去る十四日搭鉉は商鉉方に該金の請求に赴きたる處主人は不在にて妻[illegible]

◉給船上陸客 二十六日 二十六日午後釜山入港對馬丸一二等客 一等(三名)吉村哲吉、前田光輔外人一名 [illegible]

米國より京城へ　秋山生　(二)

十一月二十四日バークレーにて

米國へ來て便利だと思つたのは市區の整然たる事だ、僕のやうな初めての者でも町名と番地を知つたら殆んど一步も損する事無しに其家を採し當てる事が出來る、勿論不規則の通りも多少交つてゐるが、シカゴ、ワシントン、ニューヨーク等だと少し馴れると殆んど地圖もいらない位だ

●東京は二十年居る人にもよく判らぬさいふのに比べると如何に努力その他を省くか知れない、京城も[illegible]

●文字の街が東西に向つて走り南及び北へBから起點として南及び北へ通じてゐる[illegible]初まりC、D、Eと進んで行く、この外に斜に北東から南西及び北西から南東に走る路がある、番地は一ブロック（東西南北の通りによつて切られた一區劃）每に百づゝ進んで行く、そして立の數は右側にある、故にペンシルヴエニア、アヴエニューの五百十二番地は第五、第六丁目の間で左側然かも第五丁目から六軒目（一軒で數個の番地をもつてゐるのがあり又半分の番地のある處もあるからこれは例外もある）十四丁目の五百五番地はE（第五字目）とF街の間に在り右側でE街から三軒目だと見當がつく

●電車に乘つてゐても番地は家の表に明に讀めるし、之から何ブロック行くとそこだと云ふ事が角に立つてゐる町名を見ると直ぐ判る、勿論行儀の惡い町も多少ありこの例に外づれるのもある又ところによつて區劃の方法が各々異つてゐるとか述べたのは一例に過ぎ無いが兎に角何處へ行つても日本の町よりは遙かにわかりい、[illegible]京の町は餘過ぎると云へば其れ迄だけど說明の必要があるから知れないが番地は一ブロックに七つか八つしかなくても次のブロックへ移る時は次の百になる例之ば二千三百十五番地で次が通りになつてゐるとその次の家は二千四百一番地だ、米國へ來た序の時一寸學校も覗いて見た

●日本と違つてゐるのは御承知の通り小學校から大學迄男も女も同じ教室で同じ事を學んでゐる事、小學校は八年、ハイ、スクールは四年大學も四年（州及び學校により多少差あり）加州では月謝は少しもとらぬ、小學校では本を貸して吳れるしペン、インキ、紙、鉛筆、手工用木材など皆與へてゐる、小學校の先生は大部分女教師で一般に先生は校長を除いては生徒を決して叱責しない、自分の受持の生徒の家庭を時々訪問したり誕生日などよく調べて置いて生徒の誕生日には祝の葉書を送る

●生徒は先生を友達だと思つて居るから先生はこわい者だといふ感念は全く無い、校長丈はこわいものだと[illegible]成績のいゝものは一年間に何回でも進級させて上へ進めて出來なければいつ迄も下げる、ハイスクールは分科制度のものと二通あり前者は學課本位、後者は課目本位で學課の選定を生徒自らに任せる[illegible]

[illegible]に世話して吳れる事を得た[illegible]にも親切されて、すべての事が理解の下に、不平無しに順序よく行はれる事だ、オークランドと桑港の間八哩許りの灣を橫切つて渡船が通つてゐる、船がヤークランドの棧橋へ着いてからバークレー、オークランド方面へ走る電車が出る迄には一二分間位しか無いが乘り遲れる人も無ければ人の尻を押す者も無い、ヤンキーは氣が早いだけに[illegible]

[illegible]船が早いからついたと思ふと何百[illegible]一度に叫出す[illegible]ペンが疲れたさ云ふ[illegible]した方がいいと與める。[illegible]

辯護士高橋梅照君が先般東上の際偶然越路太夫と同車に乘り合はせたので好敵御座んなれと計り盛んに御自慢の淨瑠璃談を試みた▲何んでも梅照君が川中島の丸本を讀んでゐるのを越路が覗いて『この淨瑠璃は師匠の故大掾が一度語つた事があるが私は語つた事が無い』と云つたとかで梅照君大得意▲そこで梅照君が『今度文樂一座は久々振りの東上故是非師匠の忠臣藏九段目を聽せて頂きたい』と一膝乘り出すと▲越路は暫時俯向いてゐたが重々しい句調で『今年の文樂座の師走興行は忠臣藏で私は九段目を語りましたが最つと研究せねば不可ぬと思ふ所がありますから今度東京では遺憾ながら語りません』と云つた▲文樂座の櫓下現代に於ける日本一の越路太夫が斯んなに藝道に熱心だとは思はなかつたと梅照君逢ふ人毎に淨瑠璃の思ひ入りで話してゐる

商況

債券現物特電 [illegible]

公債直取引 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報

◉三品市場槪況 [illegible]

五百圓臺の亂手 遂に四百圓臺 熱狂 [illegible] 危く二百圓臺 破 [illegible]

大正六年初相場一月限一七七[illegible] 二月限一七六[illegible] 七月解停當日出來値七月限四[illegible]

◉期米內氣配 東京は十錢內 下關の外 下鞘 五十錢下鞘

大阪 多少の下鞘 [illegible]

氣配は渾沌 捕捉す處 [illegible]

◉仲買人成績 [illegible]

◉新糖取引閑散 [illegible] 機関散なるが然し東京及び名古屋は[illegible] 取引に至らざるにより[illegible]

◉金物界一齊高 [illegible]

錫 [illegible] 亞鉛 [illegible] 鐵力 [illegible]

一般に春高見越 底堅[illegible]

◉糯粃場は區々 [illegible]

多少値安物の入荷 [illegible] 稍亂調の傾 [illegible]

燐寸は引締む 入品捗々 漸次採算 [illegible]に接近しつゝあり

仁川正米 [illegible] 品十八圓八、九十錢より上品十九圓十錢 [illegible] 三等合格 [illegible] 氣配豫期し [illegible] 多少安人氣 [illegible]

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目 電話長一五二、三八番

京城正米 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

麥粉依然頑强 依然四圓四十錢 [illegible]賣惜み居れり

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話長三六七・三六九

下關相場 [illegible]

生魚市場 [illegible]

株式だより [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話[illegible]

仁川米豆取引所 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 電話長九〇、一三番 自宅六〇一番

各地商況 ◉群山米況（二十六日）[illegible] ◉鎭南浦米況（二十六日）[illegible]

叺繩莚 叺殼物及荷造用莚各種 大和町二丁目 箕浦商店 電話長五二

白米標準値 二十二圓五十錢 小賣白米 [illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 上田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長三八一、一〇〇、一一九

天氣 晴れ一時曇 十二月二十九日 [illegible]

歸朝途中の林公使

◇支那のゴタ〳〵は今五六年かゝる‖露國の過激派も變るだらう‖哈爾賓の支那兵は立派なもの‖支那に一大大學校の必要◇

北京から歸つた問題の林公使は廿六日の夜京奉線で奉天着、毛皮の外套に黒の山高帽子、髯は白いが元氣はなか〳〵旺盛であつた、奉天驛には赤塚總領事、馬交渉使、菊池大佐等の見送者が非常に多數、車中の公使の談に曰く『なに我輩の國がそんなに評判なのか、それぢやあ新聞社からお禮を貰ひたい位のものだ、我輩の去就を兎や角言ふのは何んでもないが兎角日本の新聞が國家の不利益な擢摩

▲臆測を書く には困るよ我輩は新聞の謂ゆる辭任するかも知れぬが兎に角鳥渡日本に歸る、東京では家の子供にも會つて來るつもりだが昨今は却つて日本内地の方が寒からうかと少々心配して居るところだ、なに支那のゴタ〳〵か、これは當分‖まづ五六年位かゝるだらうよ現に君日本だつて明治維新にはあの通りゴタ〳〵したぢやないか、ソウ一國のことが容易に行くものぢやないよ、ナルホド北方派も今は

▲出兵してる さ、併しそれを南方討伐などと言ふのは少々文句が妥當でない、政府としても自分の意見を貫徹しようとするには大は力を用ふる必要もあるさ、しかし南方の陸榮廷にしたところで、別段政府に惡意をもつての仕事ではない、只だ日本に於ても去秋月、鹿兒島の亂があつたやうなものさ、なに

▲露國の形勢 か、これもホントの大變なことになつたものだが、然し現状のまゝで過激派が、勢力を握るとしても矢張り今とは變化せねばならぬ、苟も國として立つ以上露國現今の如き無秩序の有樣で立ち行くものでない、過激派と雖も必ずこれでは不可いと覺つて來るに相違ない、また哈爾賓に派遣された支那兵は實に立派な大出來だ、あれは別に支那が積極的に派兵したのでも何でもなく只だ東清鐵道長官ホルワット氏が外國の兵でも入れて過激派を壓へたいといふから出來た事で、それに元來が支那に主權のある

▲哈爾賓では あるし我輩なども大に支那政府にすゝめてやつたのさ、哈爾賓の支那兵は實に立派な態度だ、褒めてやつてよいな、支那人の教育問題か、これは大に米國式を學ぶ必要があると思ふ、我輩の考へでは支那に大規模の大學を建てゝ一つ日本人の手で支那青年の教育をしてみたいと思ふ、金も少々の端金では不可い、何とか都合が能きようと思ふ、而して科目は

▲日本及歐洲 の語學は勿論、これに支那固有の經學をも主として加へたいと思ふ、近時支那では營利主義の教育が盛んになつて古い支那固有の學問が廢れて來た、これは日本でもさうだが甚だ非共今の間に何とかしたいものだと思ふ……』（奉天支局生）

奉軍南下中止

哈爾賓に出兵する爲め奉天張督軍は奉省より南征軍一師を派遣す可きに就き之れが軍費八十萬元要求の爲め劉顧問を北京に派遣し中央に交渉せしめたるも種々事情ありて馮總統は其出兵を欲せざるの意あるより張督軍は遂に一昨日左の如く北洋各督軍に通電を發せり

西南討伐の爲め奉天省は一個師團を派遣するに決定せし處其後大總統の勸告に接し今又北滿の外交緊急となり吉黒兩省よりは已に哈爾賓出兵するに到れり今後奉省も亦出兵するの止むなきに到る可きを以て再び兵力を割て南下せしむる能はず深く諸公の諒恕を望む（奉天）

値上實行期

‖東清‖三十五割増にて從來より四倍半

東清鐵道は十一月中旬貨物運賃の値上げの發表を爲したりしが哈爾賓擾亂と共に此の問題は一時立消の姿となり居れる爲『院撥滿鐵東線』『京奉線』『東清線』の連絡貨物に對して取扱上不便尠からざりしが愈々明年一月一日より値上の實施を見る筈にて其の値上率は三十五割増にして從來運賃の四倍半に該る事となるも留下落の爲め運賃上に取りては影響する處頗る輕微なるべしと（大連）

咸北の鑛業狀況

最近調査に係る咸北道管内に於ける鑛業狀況は鑛業權數七十四、鑛區面積一千七百八十三萬九千六百十一坪にして前年末に比し鑛業權數十四、鑛區面積五百十七萬三千餘坪を増加したり而して之が種別を見れば黒鉛の二十一を筆頭に石炭十九之に亞ぎ以下鐵九、金銅、砂金各四、金銀銅三、金銀、金、雲母、高嶺土各二、其他の序なり但鑛産額は微々たる狀況にて本年前半期の産額五萬五千圓に過ぎず

鰊の大豐漁

鰊の豐漁に依りて未曾有の活況を呈せる客月清津港魚市場水揚高は數量四十五萬六千餘貫價格四萬七千六百七十一圓にして前年同期に比し二十七萬餘貫價格三萬三千餘圓の激増を示し市場開設以來未曾有の水揚なりしが之が原因は一般從漁者の増加漁具漁法の改良等にも待たんが主として鰊の大漁に因りし爲にて頻に金水揚高の十割を占めたり其他に於ては鱈なりし（淸津）

北鮮寒氣強く

▲鳥類凍死するもの多し▼

本月十日頃大風雪ありて以來北鮮地方の寒氣は一層の凛烈を加へたるが豆滿江は十四日に至り初めて全部の結氷を見人馬の往來可能なるに至りしが之れを前年に比すれば七日間早しと目下國境地方は毎日氣溫零下十五六度より二十度位迄を上下し鳥類の凍死するもの鮮からざるが例年に比し寒氣強きが如し（淸津）

年末の仁川局

年末の郵便局は流石に繁忙を極め不眠不休の狀態を以て局員總係りにて懸命の努力を盡しつゝあり▲本年は殊に諸種の取扱數量を増加し年賀郵便物の如き昨年に比し今日迄の引受け數量一萬餘の増加を示し五萬六千通の多きに達せり而して到着數亦二萬に近く之等の整理に携はる局員は日常の取扱外殆んど局員總掛りの狀態を以て遺憾なきを期しつゝあり▲試みに郵便葉書其他切手類にして年賀用と見做さるゝものゝ賣行を見るに葉書約十二萬一錢五厘切手三萬餘其他二錢切手二萬三錢切手四萬と云ふ莫大の數に昇る之等は其多くは年賀郵便として使用の目的に在るものと見るを得べし▲爲替取扱の如き受入拂出者日常に倍加し極度の繁忙を來せるは云ふ迄もなく其取扱金額受入四萬拂出三萬五千圓の巨額に達せり貯金の預入五千圓拂戻も流石に多く七千餘圓に達せり▲振替貯金の取扱ひ受入れ五百餘件二萬五千圓拂出五十件一萬圓を算せり▲電信紙切手の賣行に至つては更らに甚だしく發賣開始當日の如きは僅かに四十冊の送付に接せるのみなりしを以て忽ち其の日に賣切れとなり二十三日再度の送付三百冊を受け之れ又一日にして十數以上を發賣し賣行の良好なる豫想外なりしと云ふ▲仁川局は年末に際して一般の利便を計らんが爲め來る二十八日より毎日午後四時迄一時間延長し午後五時迄爲替の取扱ひを爲し三十一日に限りては特に六時迄取扱ふべしと而して三十日の日曜は通常午前中なるも當日は特に延長時間通り五時迄取扱を爲すべしと云ふ

瀧警務部長豫餞會

平南警務部長瀧中佐は昨年本道警務部長として着任以來盡す處尠なからざりしが年來の痼疾たるリウマチスの爲め警務部長の劇職に堪へず久しく辭意を有し過般上京辭表を提出したれば近く兩三日を出でずして豫備役編入の辭令ある筈なるより工藤道長官鳥山審院長早川旅團長其他主なる官民有志發起となり豫餞會を大同館に二十六日午後六時より催したり主客席定まるや關口檢事正の一同を代表せる訣別の挨拶あり瀧警務部長は退職の理由を述べ深甚なる謝辭を表し了つて宴に移りしが紅裙林盤を斡旋し和氣靄々裡に九時散會せり因に瀧警務部長は發表次第歸東の途に就かるゝ筈にて市民の送別會は是れを辭謝されたる爲め僅かに主なる官民のみにて送別會を催せる由なり（平壤）

都督府御用納

關東都督府管下の各官廳は廿八日を以て大正六年の御用納めと爲し一月四日を以て御用始の式を行ふ筈又滿鐵會社にては廿九日社務を終り一月四日より開始の筈なり（大連）

式村齋藤氏歸安

吉林製材所試運式の爲め出張中なりし式村無限公司常務、齋藤滿鮮鐵工所專務一行は二十六日朝歸安せり（安東）

兩支店長歸任

支店長會議の爲め出連中なりし久我鮮銀支店長及び事務打合の爲め大連支店へ出向中なりし平塚正金支店長は何れも二十六日朝歸任せり（安東）

本田府尹歸省

本田平壤府尹は母堂病氣の爲め二十九日より約廿日間郷里島根縣に歸省さる（平壤）

永原氏歸安

支店會議列席の爲め出張中なりし永原安東三井出張所主任は二十六日朝歸安せり（安東）

間島から

◇支那滅裂たる露國の一時の紛擾に乘じ跳梁せる間島露領事ナダロフ氏の近狀は之に同情に堪へざるものあり而も其夫人は往年東清鐵道長官ホルワット將軍の家庭に教師たりしといふ點より深く同將軍の身邊を氣遣ひ悒鬱悶々の狀女性丈に左もあるべく見る目も氣の毒の至りに候

◇露支國境の匪首王林一派の投誠は益々事實となつて現はるべく局子街の孟第二團長も命を奉じ是れに斡旋しおれるやの報あり王林歸順の條件の一なる軍職の要求は營長位置にて就く見當にあるが如く要は孟團長の晉省後を俟つて決定すべしと傳へられ候

◇戰後に間島の地價は向上に傾きつゝあり一年と土地相場の昂進するは時運の然らしむる當然の現象とすべきが間島に駐在する基督教の某英國人は早くも信徒鮮人の手を以て頭道溝五百晌地の地所を買入れたる由流石は敏眼の鋭敏なる宗教家の本領よりも土地といふ利益問題に執着する所拔目なき所業と舌を捲かしめ申候

卅度より零下三十度

‖急轉直下、懲罰の意味か‖安東驛に於ける隈部總長‖

關東都督府鐵務總長隈部少將は歸任の途廿五日午前十時四十分安東驛通過旅順に直行せしが、安東驛にては列車接續の時間を驛樓上の貴賓室にて過ごし迎送の古川驛長、堤分隊長、驛長鮮銀支店長及び鈴森警務課長等と共に北行せり貴賓室内にては極めて快活に語りて曰く

東京は滯在は永つて十日位の豫定であつたのが案外三十日以上にもなつて剩けに寒い時季になつたので大閉口だ、東京は此の頃普通十度位だから家の内では障子を排けて小春日和の如き長閑さだが其が

▲急劇に零下 三十度と云ふ樣な寒氣に出逢はなくてはならぬのだから寧ろ東京滯在の永かりし懲罰的意味があるのではないかと思ふよ、京城には一寸立寄つて澤部長の宅で厄介になりました何と云ふても京城はお里だからね朝鮮人が北進して滿洲に移住して來るのは極めて喜ぶべき現象である此の朝鮮人を親切に誘導し指導して行くのは内地人の義務である彼等朝鮮人に滿洲にて自動的に發展を望み進歩を急劇に期する譯には行かないから宜しく先づ移住者中の有力者有志者等との間に相互の理解を得て其れを通じ漸次に全部全體の

▲福利を増進 し進んでは自發的自動的發展を促す樣指導しなければならぬ、從つて内地人は出來得る限り彼等の爲めに面倒を見てやり世話をしてやらねばならぬ、是を嫌がる樣な事では滿洲の發展は勿論朝鮮と日本との融和を傷ける事になるのである、と更らに一轉して北方哈爾賓の風雲は急なるが如く傳へられてるが果して其の眞相は何うだか要するに所謂社會主義の

▲過激派が勢 力を得たる今日の其れであるから現狀を何時まで持續し何時まで無政府無秩序的な行動をなすか了解つたものではない、が目下の處では黒龍吉林兩省の兵が派遣されてると云ふ事だから除り大した事にもなるまいと思はれる、大きくなれば又其の時で何とか方法も就くと思ふ、年が明けたらば又此の方角まで出て來る積りだ、其の際又悠くりと話さうよ（安東）

白山黒水

▲北京から歸つた林公使は京奉線で特別列車を仕立てゝ貰つたが車中は寒氣の爲めに蒸氣が通はなくなつて長い道中をじつと寒さに我慢して來た▲それに閉口して外に出たはよいが寒さの爲めに欄干の金具で手を痛めた公使は▲氷で火傷して此の通りと公使は右の掌をヒリ〳〵させて居た▲ところが見送りに來た奉天の赤塚總領事も昨今官舎に蒸氣が通はず毎日寒い日に遭ひますとこぼせば▲しかし奥さんだけは大丈夫だらうと揶揄一番▲すると夫人もなか〳〵負けて居ずに『でも痩せたよりはましでございませう』は大笑ひであつた▲次に公使は獨逸の工業を説いて日本の未だ幼稚なるを遺憾とし大に工業發展の要を力說し▲鉢は廻り廻つて公使の乘つた特別一等車にまで廻つて來た▲此の汽車などもアメリカ式の臭ひがするぢやないか客車まで外國で出來るとは大になさけない話しさ▲それに少々立派過ぎるやうだとの口の下からこれは特に閣下だけに差し廻したものですと聞いて嬉しさうだつた▲なるほどそれは『お氣の毒』は御愛嬌だつた▲因に特別一等車といふのは借切り奉天から釜山まで一千二百圓の車賃が要るといふ（奉天）

京城學校組合告示第拾號

大正六年度京城學校組合歲入出追加及更正豫算組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ

大正六年十二月二十八日

朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正六年度京城學校組合歲入出追加豫算

歲入臨時部

第一款 繰越金　追加金五千四拾六圓

第一項 前年度繰越金　追加金五千四拾六圓

計　追加金五千四拾六圓

歲入合計　金七萬二千三百拾八萬[illegible]

歲出經常部

第三款 小學校費　追加金三千百七拾三圓

第九項 需用費　追加金三千百七拾三圓

第四款 高等女學校費　追加金八百五拾九圓

第九項 需用費　追加金八百五拾九圓

第五款 幼稚園費　追加金千五拾七圓

第五項 需用費　追加金百五拾七圓

第六款 簡易實業專修學校費　追加金四拾四圓

第二項 需用費　追加金四拾四圓

計　追加金二萬九拾九圓

歲出臨時部

第一款 小學校費　追加金八百拾三圓

第五項 設備費　追加金八百拾三圓

計　追加金八千百拾三圓

歲出合計　金二拾八萬二千二百三拾[illegible]

大正六年度京城學校組合歲入出更正豫算

歲出經常部

第一款 事務所費

第一項 給料　更正金七千九百七拾九圓

第二項 雜給　更正金千三百七圓

第三款 小學校費　更正金拾四萬二千八百拾一圓

第一項 給料　更正金八萬千百八拾圓

第二項 旅費　更正金二千四百四圓

第三項 宿舍料　更正金一萬九千七百四拾圓

第四項 雜給　更正金一萬千七百三拾八圓

第五項 需用費　更正金一萬九千二百三拾三圓

第四款 高等女學校費　更正金二萬二千九百七拾九圓

第二項 旅費　更正金六百六圓

第四項 雜給　更正金二千二百六圓

第七款 學校衛生費　更正金千九百六拾三圓

第一項 雜給　[illegible]

購買　臨時土地調査局（龍扇紙）

第一號 朝鮮紙 千枚

第二號 申告書用紙五拾萬枚

詳細ハ廿七日ノ朝鮮官報ニアリ

京城水道給水量不足ニ付明二十九日以後ハ左ノ通リ給水ス

大正六年十二月廿八日　京畿道

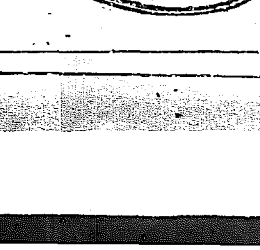
記

午前　六時給水開始　十一時給水停止

午後　四時給水開始　九時給水停止

但土地ノ高低及水量ノ關係ニ依リ時間ニ遲速アルヘシ

除隊の諸君
入營の諸君
平素の御愛用を謝して一層の御健康を祈り升
森永ミルクキャラメル



6—38

壹等賞
仲買人 曾我一郎殿
大正六年下半季間に於て最多額の賣買をなしたるに依り其賞として銀盃一組を贈與し以て其成績を表彰す
大正六年十二月二十二日
株式會社大阪堂島米穀取引所
理事長代理理事 上田彌兵衛

仲買人 曾我一郎殿
一 白縮緬壹疋
右自大正五年下半季至大正六年下半季三季間賣買最多額にして每季一等賞を受けられたるに依り爲記念之を贈與す
大正六年十二月二十二日
株式會社大阪堂島米穀取引所
理事長代理理事 上田彌兵衛

謹告
不斷の御同情と御愛顧の賜と奉感謝候
大阪堂島米穀取引所仲買人
曾我一郎商店
電話北長 二四八番 二四九番 二六六番 二五〇番 二五一番
自宅 電話西の宮一八二番

新田式耐水調革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行
京城南大門外 白神洋行支店
新田帶革
定價表申込次第送呈

華道未生流
生花もり花教授
但し花持參月六回出教授
未生流家元師範代 朝陽府 春甫

生花、生花材料、花器
薪炭、石炭、煉炭類
其他果物煙草小賣
京城本町四丁目 電話一四八四番 生雲屋

廉價販賣
古木梅盆栽
本場福壽草
黃梅 雪割草 松竹 寒咲花木 各種盆栽
京城大和町警務總監部四ツ角
骨董園藝 大舘鐵笑園
電話一三五五番

外科花柳病 内科小兒科 婦人科
京城南山町二丁目
宮崎醫院
電話三〇六八番

例年の通り
忘年會新年宴會
其他御料理御好に應じ安價に可申受候
鍋類其他の一品御料理の御客樣の御便利は弊庵の特徵に候
京城旭町一丁目（電話二〇四六番）
御料理 仕出し 權平庵 中井ゆく

年は三十五萬圓の漁[illegible]年は僅かに五萬圓の漁[illegible]山附近も赤江口同樣不漁にて漁民の窮状は實に其極に達し中にはあり商店等も可成的掛賣を禁じ[illegible]せるためなりともいひ居れり（元山）

[illegible]一錢を十五錢五十錢にて[illegible]同人は更らに弟[illegible]したるが商館は前記賣却代金中十一圓卅錢を支拂ひたるのみにて其[illegible]に斯うしてやると其場に在り合せたる鍬を取り家を叩き破り亂暴中其場から引致さる

井手秀[illegible]、[illegible]、同かつ子、同ちか子、永野お[illegible]、同武、中島きち、中村常、同よし子、森島治、太田りよ、千葉定吉
百九十八名

報豫

[illegible]

左甚五郎

第百二十七席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

當月の主人は利久に對つて　主『お話しといふのは、昨日手前共の處に例年の通り御城內へお出入の職人衆の初寄合がありました、其の內に何うしたことか畫の先生が一人交つて居りましたを見ねまして、其の方が大層な御酒家で、お開きになる頃には醉潰れてしまつて、お歸りになつたのも知らずに寢てお在なすつたさうです』利『成程』主『女中共もお起し申さうかと思つたが餘り能く寢て居るものですから、又お起し申して御機嫌でも損ねては惡いと思ひ、ソツと此

儘にして置きました』利『フーム、』主『其內にもう四ツになりまして、別に外にお客樣もなかつたから其う表を締ることになりましたので、それでは先刻のお客樣をお起し申さうと、二階へ上つて行くと、長居をして氣の毒だつたと云つててゝお歸んなすつたさうで、それから女中共が跡で座敷へ入つて見ると未だお一人のお客樣が殘つてお在になる、そんな馬鹿なことは無いと云つて能く見ますと、是々然う〳〵』と壽老人の畫であつたことを話して　主『恰度宜い處へお出で下さいました、烏渡御覽下さいまし』利『イヤそれは面白い、是非拜見を爲やう』と是から利久が案內されて廣間へ參り、暫くの間眺めて居ましたが、ハタと膝を打つて　利『イヤ實に美事に描てある是はお前の家の寶物だ長谷川等伯と云ふ畫工は聞たことがないが、是非此の人に會つて見たい、世間には隨分巧みな腕を持ちながら、不遇に終る者が少なくない、若し然ういふ者であつたら、俺が骨を折て世の中へ出して遣りたいが』主『イヤそれは結構でございます、探ねましたら知れないこともありますまいから……』と乃て、早速昨日の寄合の幹元へ聞きに遣ると長堀の建具屋喜右衛門の代りに參た喜七と云ふ者だと云ふことで、ました　主『それでは、宗匠、貴下のお心持を先方へ通じまして、當人を伴れて、御屋敷へうかゞいませう』利『それでは然うして貰ふことにして』と利久は歸つて行く、當月の主人は翌日土產物を供に持して喜右衛門方へ探ねて參りますと、家內がガヤ〳〵騷がしい、入つて來たから門口へ立つて樣子を聞いて居ると、女房の聲で　ちか『ねお前さん、駱駝先生には呆れるぢやアないか、お前さんの晴衣を着て行つてグデン〳〵に醉ばらつて例によつて寢てしまつたんだから、あつちこつちへ汚點を拵へるやら綻だらけにするやら、仕樣のないことをしてしまつたよ、第一歸つて來たのが九ツ近くぢやアないか、毎時大概夕方には開ける寄合が何うしたのかと思つて隨分心配をしてしまつたよ、春先のことだから、若い者は皆な遊びに行つて、歸つて來ないに極つて居るから、早寢をしやうと思つて居るのに寢ろ譯にも叶かないし、物騒だから表は締りをして置いたが、夜更て歸つて來たと思ふと遠慮會釋もなくドン〳〵戶を割れる樣に叩くから、開けて遣ると突如人の頭へ酒ツ臭い息をブーツと吹ッかけるし、實はもう厭になつてしまつたよ』喜『まア〳〵宜いやな仕方が無い、別に俺の恥になると云ふ譯じやア無いのだから』ちか『恥にならないことも無いよ、何故つてつて甚麼ことをしたか知れやアしないよ、何にしろもう彼の人にはホト〳〵厭になつたから、今度きんと相談をして出て行つて貰はうと思ふんだよ』喜『まア！ソンんなことを云ふな、彼の人も何日までも家に居る氣はあるまいが、時節が來なけりやア仕方が無ねえ、今に時節が來れば驚く程な先生になる人だ』と女房を宥めて居りますと門に居の主人が立聽をして居ると夫婦のものは露程も知りません

十二月三十日九星　舊十一月十六日丙午　本命七赤西破友引

△七赤　開店を生じ安き日…

演藝案内

本町五丁目　稻荷座　大阪初下り男女合同大一座芝居…

有樂館　活動寫眞常設館…

黃金館　電話二六三七・二六六…

本町　壽座　電話五七八番…

京城本町　壽館　電話一〇五〇…

櫻井町　大正館　電話八七三…　十二月七日より本年最後の大公演…　探偵奇談呪の新作　全十八場…　君の恩　全五巻…　全四巻

明治町二丁目　浪花館　電話二六〇番　一月元日より…　東京落語　春風亭…　大一座

百圓進呈　りん病　ばい毒　帝國醫科大學病院…　分析料百圓進呈…　にせ物にせラックあり…　大阪有田ドラッグ商會　京城南大門外停車場通…　釜山大廳町三丁目　元山本町三丁目…　他の藥店に販賣を不許　大阪　南大門停車場通　京城　ドラッグ商會

MITSUWA TUBERCLE TABLETS

As regards the prospect of recovery from consumption is fully recognized by MITSUWA TUBERCLE TABLETS. For pulmonary, scrofulous, and bronchial troubles, this remedy is the newest and the most efficient restorative that modern science has produced.

100 tablets Y 1.50

肺結核肋膜炎等總て結核性疾患に卓効ある

みつわはいびやうのくすり

◎ミツワ結核錠

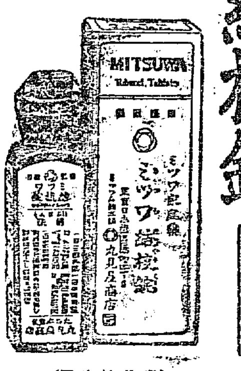
適應症　肺結核、肺尖加答兒、氣管枝加答兒、肋膜炎、腹膜炎、腺結核、腺病、百日咳、カリエス、其他總て結核性の病症

本劑は結核治療に賞用せらるゝ炭酸グアヤコールを主藥とし、之に數種の卓効藥を配合せるものなるが故に、本劑を結核性疾患に應用すれば、自覺症狀を輕快せしめ、發熱、咳嗽、喀痰に好影響を及ぼし、食氣を振はしめ、胃の機能を促進し、胃腸を防腐して、食物の消化吸收を完全ならしめ消食を佳良にし、體重を增加し、體內の蛋白質分解を制限して衰弱を防ぎ、貧血を療し、身體を强壯ならしむ、而して毫も不快なる副作用を呈することなく、持續服用するに從ひ効力倍加す、家庭用結核劑として理想的のものなり。

▼如斯人は◎ミツワ結核錠を用ふべし▲

一、肺結核や肋膜炎又は腺結核
一、咳嗽の出る人　一、痰の出る人　一、熱の出る人　一、食慾の無い人
一、胸の痛む人　一、呼吸の苦しい人　一、盗汗の出る人　一、身體の倦怠い人
一、下痢する人　一、貧血する人　一、消化の惡い人　一、身體の衰へる人
一、百日咳の小兒　一、腺病腺腫の小兒
一、氣管枝加答兒の人　一、肺尖加答兒の人
一、慢性腹膜炎の人　一、總て結核性の病ある人

百錠金一圓五十錢　內地以外は郵稅送料實費申受



(現品縮寫圖)

●發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹼本舗　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得る

本邦及英米國政府專賣特許滋養强壯料

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

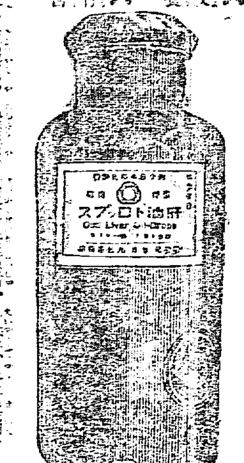
MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

◎肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして容易に可消化性合劑を以て成る滋養劑なり。

◎複方肝油ドロップス　肝油の外に鐵、燐、蛋白質に換へ更に有機鐵を含有せしむ。

肝油は一般の虛弱者、腺病者、肺結核者、營養不良に起因する眼病患者、諸病の恢復期の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養强壯劑なるも其の臭味あるため消化不良なる者に不快にして消化吸收の障害を伴ふに、河合氏多年苦心研究の結果、一顆毎に精製肝油の含有量を一定にし、乳化完全にして消化吸收の最も容易なる「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油の臭味を除き容易に食用し得る事と、腸胃の傷に觸る事なく冬季と雖も確實なる良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

▼如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲



五十顆入定價金七十錢

最上醬油

朝鮮仁川府

高杉醬油釀造場

山縣五十雄　村上唯吉共著

富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢

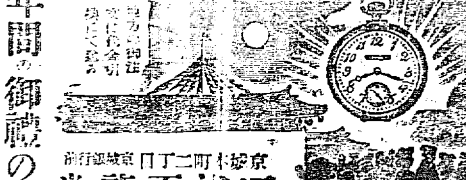
京城太平通　京城日報社代理部　振替三〇〇番

大學病院…　京城　長野餘天堂藥局

時計貴金屬指輪眼鏡商

勿驚破格大賣出し

一年間の御禮の爲



京城本町二丁目　三浦天龍堂

石材値上廣告

今般協議の結果販賣價格二割値上實行可致候條此段廣告候也

京城石材採取販賣業者一同

大日本優等淸酒

品質純良　衛生無害

攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社

京城本町二丁目　特約元　前田商店

營業品目

肥料部　蒸製骨粉、乾魚、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨細工用蹄角牛骨膠及膠原料

石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗濯曹達

京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番

京城龍山町一四番地　朝日石鹼製造所

最新式仕立　背廣冬服　(三ツ揃)

特　金參拾九圓
甲　金參拾六圓
乙　金參拾圓

(スコッチ、霜降メルトン、紺メルトン、ラクダメルトン、スコッチ、紺メルトン、ホームスパン、スコッチ、紺メルトン、スコッチ)

△オーバーコート　特、金參拾七圓　甲、金貳拾八圓五拾錢也　乙、

△オーバーコート專用厚地羅紗揃居候

○地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解御送付可申上候

○送料　鮮內二十錢　外五十錢

京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

醫化學諸器械

Ⓚ

仁川本町　北島藥店

京城本町　北島藥店支店　電話七六一番

藥種賣藥卸商

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、營口、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、傅家甸、龍井村

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

汽車發着

京釜線（南行）（北行）　湖南線（南行）（北行）　京義線（北行）（南行）　京仁線（仁川行）（京城行）　京元線（北行）（南行）

第五版

京城日報

二十九日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那の形勢

京城日報

最近北京政府は、南方と妥協するに就き、徐ろに其手段を選みつゝあるも、蓋し武力解決は北京政府の一旦取る所の政策なりしも、其武力に變更なき能はざると同時に、南人亦北方と戰ふを欲せず、是れ馮總統が妥協方針を取るも、段祺瑞氏等強てこれを爭ふを爲さゞる所以なり。

且支那は獨逸に對して宣戰したる上に、其兵を戰線に出すべきことを公宣せるあり、段氏は則ち軍事擔當者たり、從來軍事擔當者と云へば、則ち南方討伐者たることを意味するも、今日の支那は大戰役參加者なるを以て、段氏の任務は主として協商國と共事を共にするにあるや言を待たず、特に近頃露西亞其紀綱を失ひ、其領土を擧げて無政府狀態に陷りたるのみならず、其の獨逸と休戰を約せるより以來、露人專ら單獨講和を急ぎ、獨逸人亦之を視て以て自己の藥籠中の物と爲し、獨逸軍人兵士露都に横行濶歩するといふ有樣にて、目下露國内過激派と非過激派と相爭ふの時に當り、獨逸は則ち過激派を援助して其權勢を專らにせしむるといふ際なれば、支那は其北滿洲蒙古等の警備を嚴にして、所在人民の生命財産を保護するの必要あるや論なく、露國民の今後の出處如何に依りては、支那は更に重大なる任務を擔當せざるべからざるに至るやも知るべからず。

或は南北妥協の容易に成立すべからざるを說くものあり、或る程度今日の有樣にては、武力解決が不可能事なる如く、南北妥協も亦容易の業なりとすべからず、併しながら眞を云はゞ今や妥協は南方人の最も急とする所ならざるべからず、北京政府としては南方の乖離を憂へざるにあらず、然れども南方離反するとも、北京政府其存在を危くすることなく、關係列國亦之を認めて以て、支那の事實的統治者となし、遂に之を引いて共同作戰を爲すに至る、故に今日支那參戰の結果、北京政府其重大なる任務を擔當し、南方は此に與からずして、却て其事を妨ぐるの實ありとせば、即ち支那の實力實權は、益北方に集中し、關係列國も亦[illegible]其の依りて立つ所以を[illegible]べきや、智者を待ちて之を[illegible]るを要せざるなり。由來支那南北の爭ほど無意味なるは無く、[illegible]等の戰には多少の理窟はこれ有るべしと雖も、世間には通用すべからず、其の爭事する所は悉く皆空名空理に屬し、他の國民には到底理會し得べからず、且今日は世界的大戰役最中にて、世界を擧げて其國家の存亡を爭ふといふ時に當りて、支那のみは其國内の南北を分ちて、空名空理を相爭ふて已まずと云ふが如きは、甚だ外聞よろしからざる次第なれば、彼等の爲めに謀るも此機會を以て、速かに南北妥協を行ひ、擧國一致、内には憲政の發達と軍國の要務を全くするとの爲めに努力するに若かざるなり。

支那漫遊

蘇峰生

勞山の快遊

十二月五日、昨日とは打て變りたる好天氣也。風さへも全く收れり。二日間位は吹き續くが、定例と聞きしに、一日にて中止となりしは、如何なる好運ぞや。風ある此日は、勞山に遊ぶ可く豫定せり。乃ち三谷君、田中君を案内者として、午前九時過ぎに發す。自動車は坦々たる大道を、矢の如く駛す。李村を背き、嶗山の巖巖を右手に望み、九水に至れば、身は已に勞山山麓の裡に入りたる也。山腹を穿ち、溪水に添うて、九水廳を過ぎ、王子瀧に至りて、自動車を下る。

此れより獨逸人の開きたる山道に攀ぢて、柳樹臺に至る。此處は勞山山脈の、山脊の一にして、分水嶺也。此の頂上には獨逸の養生院あり、又た若干の別莊あり。青島の獨逸人は、何れも土曜の午後より、日曜にかけて、此處に休養に來れりと云ふ。數棟の建物は、今や破壞せられて、唯だ煉瓦と、石材の四壁のみ、則ち家の骸骨を剩すのみ。全山皆石、其の石質は花崗石也。青松其衣たり、白雲其の化粧たり。其の怪嵓の箱を正しく立て、斜に立て、或は逆しまに立てたるが如きあり、或は牛の臥き、馬の[illegible]の如きあり、[illegible]老人の坐睡するが如き[illegible]朝鮮の北漢山を[illegible]

山湖より此路を取りて、前進したりと云ふ。予は當時を語る能はざるを惜しむ。快興未だ盡きず、乃ち踵を回らして、北九水廟に遊れば、東和公司の諸氏は、已に午餐の準備をして予等を待ち受け居たり。乃ち老君廟前に卓を設け、牛肉を燒き、味噌汁を啜る。古人曰く[illegible]肉あり、魚あるに於てをや。[illegible]ば、恐らくは鋤燒の芳香に、[illegible]る能はざりしならむ。食了りて廟側なる白壁を見れば、[illegible]左の詩を署しあり。

溪回路轉鷄聲隔、絶壁[illegible]有天。靑淵好花如靜女、數峰奇石似飛仙。[illegible]一日山中抵一年、獨倚[illegible]惆悵、斜陽紅到古松邊。

甲寅春暮　　易順鼎

とあり。予は不思議の奇遇に驚けり。易順鼎氏は、湖南長沙の人にして、七歳詩を作り、神童の稱あり。予は北京に於て相會し、其の詩を寄贈を忝うせり。是詩は大正三年の作と覺ゆ。蓋し氏も亦た前朝の遺臣として、彼黍離々の感ありたるならむ歟。予亦た一首を得たり。

殘雪滿澗傍水涓。青松抱石怪嵓欹。宿山恰似作文訣。一段披來一段奇。

予等が王子瀧に返りたるは、已に四時に近かりき。此れより自動車にて、七里の道程を、一氣呵成に獨逸人の經始したる[illegible]を見、[illegible]の好場所たるは、論なき也。[illegible]き、何れの點より見るも、[illegible]浴にして、海中一石なく、寸泥なく、却て膝を沒ゆと云ふ。且つ其の遠くて、陸上房に冷かなる時も、水中の温度は、大連に比すれば更らに高となりたるものなれば也。[illegible]却て之に優る、蓋し花崗巖の粉末[illegible]而して其の沙の潔淨なる[illegible]青松白沙、[illegible]海邊を散歩す。小閑を偸んで、海水浴場附近を[illegible]習慣を說く。

[illegible]

支那に於ける[illegible]

[illegible]

以て初となせば其點は又諸氏の一文子の論文を輔せしこども本篇を系統的記述は從來他に前例なく、[illegible]に關する所なり、但し朝鮮古墳の不揃の點多かりしは深く讀者諸氏[illegible]

[illegible]其績篇を草して今日の缺を補ふ可し。讀者幸に其意を諒せられよ。（完）

[illegible]

[illegible]立てる者すら出來ました

休戰條約を締結

する、待たず其の間に休戰の期間を延期し、獨逸の誘惑は此の邊よりも起りて、伊國に臨むとなき乎。逸し行くことは獨逸が之に依りて、聯合國側との講和を引出さん手品[illegible]が爲に彼是時間を費したる策其の圖に當れる也。

[illegible]に於て多年の政策に缺陷あるを認めたれども所要の兵力が[illegible]如く適當に間に合ふべくもあらず[illegible]

[illegible]

英佛の意氣込

[illegible]

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

どうして　布施生譯　二十八

[illegible]

新年特別號

鐵筆陣堂々大陸言論界の權威出生氣潑剌

朝鮮公論

特價四十錢

戰後に於ける支那 列強の角逐と我國民の覺悟 美濃部俊吉
第四十議會と寺内内閣の運命…元田肇
鮮狀黑鉛の研究 谷口與四郎 平壤兵器製造所
植民思想の人道化 新渡戸博士 最近滿鮮金融及經濟 千歳生の人名錄
大戰第五年の劈頭に帝國の大策を論す 仲小路廉
全鮮官の道長新抱負 △製造工業の隆昌 △治水と水産 △勤儉貯蓄の奬勵 △桑苗の擴張 △道路の改修 △養蠶と機業
最近鑛業界 三井の山林經營 青楓演奏會
戰後の大反動に處する工業立國策…中野武營
奮鬪經歷 朝鮮製紙會社の創立
鮮滿を顧みて 野田大塊
大正七年を迎へて人心の肅清を促す
あかしや 水原の事業と人物
東拓鮮銀 中樞人物論 有馬易水
鐵道政策と經濟的勢力の發展…久保要藏
半島歌壇漫言 信託とは何ぞや 澤村九平
官民課長總まくり（一）…李迂人
安藤又三郎。川江秀雄。黑澤明九郎。加藤正義。鷲尾弘準。木本倉二。島田房太郎。村尾一靜
在鮮文武官の宮中席次と年齡
警戒すべき世界の經濟界の大反動…早川千吉郎
大正七年を迎へて……内地、朝鮮、滿洲に於ける數十名士の感想と希望
藝妓諸君に與ふる書
棧橋ロマンス 恐怖すべき花柳病の話
朝鮮に於ける工業發展の五大策 小原新三
購讀申込所…京城太平通 朝鮮公論社 振替京城一五七七番

定價三十錢 郵税一錢五厘 六冊前金郵税共一圓八十四錢 十二冊前金(同)三圓五十八錢 全國各地の書店に在り

在鮮人士の必須缺ぐべからざる二大珍書

普通文官應試提要

寸珍型洋裝頗る美本 紙數五百餘頁携帶便 定價七拾錢 送料六錢

判任文官試驗に應ずる參考書 二版四版第七版

法律上

鮮文鮮語 唯一

蒼く網羅

朝鮮古書 熟字俗字 慣習風俗志

四六版裝幀淸爽和裝紙質 上卷百餘頁 定價五拾五錢 送料六錢

朝鮮

一手販賣所 京城太平通 京城日報社代理部

第四十回帝國議會

貴族院

貴族院は二十八日午前十時開會勅語奉答文案を可決し德川議長之れを携へて參內其の間黑田副議長により議事を進め最初全院委員長に德川賴倫侯を選擧し次で常任委員は各部にて選定するを以て一旦休憩し德川議長宮中退出の後再び開會各委員當選者の氏名を報告し散會せり(東京特電)

▽奉答文

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹て叡聖文武天皇陛下に上奏す第四十回帝國議會の開會に際し茲に盛典を擧け優渥なる勅語を賜ふ臣等虔て叡旨を奉戴し愼重審議協贊の任を竭し以て皇猷を翼贊せん事を期す臣家達恐懼の至りに勝へす謹て奉答す

衆議院

衆議院は二十八日午前十時開會大岡議長奉答文捧呈の爲め參內會議は濱田副議長によりて續行され最初全院委員長を選擧し一旦休憩次て各部にて常任委員を選定し議長宮中より退出後再び會議を開き當選者を報告し正午散會せり(東京特電)

▽奉答文

恭しく惟に車駕親臨して茲に第四十回帝國議會開院の盛式を擧け優渥なる聖詔を賜ふ臣等愼重審議協贊の任を竭し上 陛下の聖旨に對へ下國民の委託に酬いん事を期す衆議院議長臣大岡育造誠恐誠惶謹て奏す

▲各派交涉會 海軍慰問決議

衆議院各派交涉會は二十八日午前十一時院內議長室にて開會大岡、濱田正副兩議長、岡崎、床次、中橋、野田(以上政友會)、關添、望月(以上國民黨)、若尾、秋田(以上新政會)、花井(無所屬)の諸氏外數十名出席地中海に出動中なる我艦隊に對し慰問の爲め左の如き慰問文を贈る可き事を決議し伊宗安海軍少將の說明を聽取し午後十二時半散會せり

決議文

戰局の擴大するに伴ひ我艦隊は既に太平、印度兩洋に敵艦を驅攘し更らに歐洲の海上に遠征し倶に艱苦を嘗め屢々壯烈なる行動を以て共同の作戰を全うす衆議院は特に院議を以て我軍將卒の忠勇なる偉績に對し滿腔の敬意を表す(東京特電)

▲決議文可決

衆議院各派交涉會にて可決せる別電我海軍將卒に對する感謝の決議文は二十八日衆議院本會議に於て元田氏より決議案提出の理由を說明し總員起立滿場一致可決し之に對し栃內海軍次官は海軍當局を代表して感謝の意を述べたり(東京特電)

▲全院委員長 山根正次氏當選

二十八日衆議院に於ける全院委員長の選擧は投票總數三百八十一票にて

百九十一票 山根正次
八十一票 高橋久次郎
一票 花井卓藏
一票 橋本大吉
一票 床次竹二郎

の結果を示し山根正次氏當選せり(東京特電)

▲各委員長互選

衆議院にては二十八日本會議散會後各常任委員會を開き委員長を互選の結果

豫算委員長 小川平吉
決算委員長 富島暢夫
懲罰委員長 戶水寬人
請願委員長 板東勘五郎

の諸氏當選したるが各理事は公報にて發表の事とし散會せり(東京特電)

▲開會日割決定

衆貴兩院は本期議會に於ても前例に依り火木土を本會議、月水金を委員會、火曜日を質問日とす(東京特電)

▲兩院休會

貴衆兩院は二十八日を以て本年の納會とし一月二十日迄休會を議決せり(東京特電)

◎露兵を國境外に放逐 ▽リウチン姿を晦ます

露支兵衝突の結果は支那側死者二十名負傷數名露國側將校一名戰死せり當府リウチン氏は約五百名の手兵を有し居りしが廿六日の戰爭には關係する事無く姿を晦まし支那兵は目下搜索中なりと又支那兵に交付せる二千餘名の露兵の武器は全部支那側に引渡せるを以て二十八日汽車にて國境外に放逐の事となり支那兵之を監視す可し(哈爾賓特電)

◎宜昌の北軍退却

廿二日宜昌にて北軍約四千は南軍七千と砲火を交へ一時北方に退却せり死傷詳かならざるも北軍の團長一名營長二名戰死し團長一名負傷し營長一名戰死し負傷兵三百餘名を出せり宜昌駐在英國領事は石星川氏に對し宜昌の三十支里以內に於る開戰に對し抗議せるに石星川氏は承諾の回答を發せりと(宜昌特電)

◉鐵材市況閑散 來春は高見越

恐慌に瀕したる觀を呈し之れが爲め東西の鐵商は在庫品を相當保有し居たるに拘らず尙一層先高見越[illegible]十一月以降一高一低ありたれども大體に於て保合の姿を呈し歳末の[illegible]掛も又之れに伴れ漸落步調を辿り[illegible]れば先づ右相場を以て越年し來春も東京、大阪、神戶等に於ける各大手筋鐵商が買[illegible]當時に買入[illegible]分貨を試むべけれ[illegible]

◉鴨江畔の黑鉛

[illegible]るに至るべしと當業者は觀測しつゝあり[illegible]解氷後は筏を以て安東に出し簡單なる精錬を施して內地に送るもの[illegible]なるが牛車道路は先年某代の金鑛[illegible]其他一切の契約を了したるが世界に於ける最上の品位を有する限度の鱗狀黑鉛に劣らざるものと決定[illegible]

◉課稅價格變更

仁川稅關にては仁川市場に於ける[illegible]課稅價格は[illegible]大正七年三月より實施[illegible]

▲課稅換算方法 既往一箇年[illegible]格算定方法を定め鮮內各稅關及び支署出張所を通じて之を實施する事となりたり不便利からざるを以て今回課稅價之に約二箇月間の[illegible]事とせり即ち其の計算[illegible]したる課稅價格は

大豆 一石當り 八圓二十二錢
小豆 同 七圓九十七錢
[illegible] 同 八圓五十[illegible]

◎遠航補助 九百二十萬圓

遞信省は二十八日遠洋航路補助法に依る補助契約を締結し公表せるが歐洲航路は日本郵船、北米航路中ビユーゼツトサウンド線は日本郵船及び大阪商船、同桑港線は東洋汽船、南米航路は東洋汽船、濠洲航路は日本郵船にて契約年限二年補助金額約九百二十萬圓也(東京特電)

◎平山氏親任待遇

二十八日左の辭令あり(東京特電)

內大臣秘書官長 正四位勳二等 平山成信
特に親任官の待遇を賜ふ

◎久保龍居兩氏

久保滿鐵京城管理局長は二十七日午後八時半大連發列車にて京城へ向ひ龍居同理事は午後五時發急行にて鮮經由東上せり(大連特電)

▲安東縣通過 京城へ歸任の途にある久保滿鐵京城管理局長及び東上の途にある龍居滿鐵理事は二十八日午前十一時滿鮮直通列車にて當地通過南行せり(安東縣特電)

◎交代驅逐艦入港

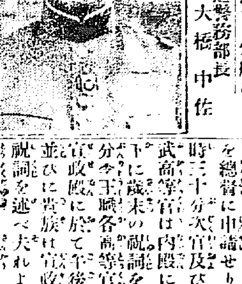
旅順要港部第九水雷艇隊と交代す可き青島第十二驅逐艦隊浦波、綾波、磯波各艦は司令大寺中佐引率二十八日旅順に入港せり(旅順特電)

◉支那抑留獨船 郵船會社と交涉

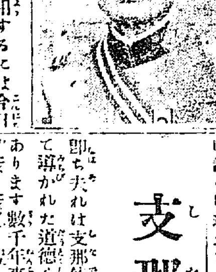
支那各港に於ける抑留獨船の使用問題に就ては久しく本邦郵船會社と交涉中なりしが其中三隻は愈々進捗せるを以て或は近く其決定を見ることとなる可きかと云ふ而して其船名は上海に於ける抑留船としてはオーストリア、ロイド社のボヘミア(重量四、〇八七噸積載三、八〇四噸)及びアルベンガ(重量七、〇〇〇噸積載七、四五〇噸)の二隻並に汕頭抑留のユニオン船トライアンフ(重量二、〇〇〇噸積載二、三三二噸)の合計三隻なるが郵船會社が是等船舶を使用し得るや否やの根本問題は其賃料の如何にあり既に支那の港內に抑留せられたるものなる以上使用の權限並に戰後に於ける賠償問題等は支那政府に於し本邦海運業者として支那政府より賃貸借を爲すの形式にあるものなるが假りに其料率が英國公定相場に準據する者として四十志乃至四十五志とし小型船トライアンフの如き者が反つて四五志方の高値なるものとせば到底之を傭船して收支償ふこと難し又大型小形を通じて噸二十志前後とするも

▲抑留獨船の傭船は普通の傭船とは其趣を異にし純然たる船舶のみの賃貸借なるが故に借主に於て船員の給料、食糧其他の經費修繕料等を負擔せざる可からず故に二十噸の傭船料も航路次第にては二十四五圓に相當する次第なるを以て此料率の決定は郵船會社に於ても充分研究の餘地ある所にして今日猶契約の確定を見るに至らざる所以なり而して假りに會社が是等三隻の獨船を使用することに決定すれば之等の船舶は何處に配船するやは

▲第二の問題たる可きがボヘミア號は純然たる客船にして之を米國航路に使用するには今日にては小型に過ぐるを以て先づ上海航路或は其他の支那航路に振向くるの外なかる可くアルベンガ號は一八九八年の建造船にして優秀なる大型貨物船なるが故に米航に使用し得るは勿論濠洲航其他適當なる航路に配して充分に今日の船腹不足を償ひ得るに至る可し、最後にトライアンフ號は一九〇一年の建造船なれども何分にも小型なるを以て內航に使用するの外無く、北支航路か或は北海道內地間の航路に配船するかを以て最も適當なる方法と云ふ可きものなりと(東京)



新任平安南道警務部長 大橋中佐



新任憲兵隊司令部副官 太田少佐

◉御眞影拜戴式

總督府醫院にては二十八日午後二時より道回御下賜相成りたる御眞影の拜戴式を擧行せり是より先き芳賀院長は同日午前十時本府にて御眞影を拜受の上歸院、恭しく奉安所に奉安す定刻となるや同院職員、看護婦、醫專生徒全部參列院長の開扉最敬禮と共に一同最敬禮を行ひ『君ケ代』合唱の後再度最敬禮を行ひ院長閉扉して玆に全く式を終れり

▲赤十字拜賀式

赤十字社朝鮮本部は明年一月一日午前九時より同十一時迄に御眞影拜賀式を行ふ筈なるが式場は同本部事務所なりと

◉昌德宮 御用納式

昌德宮にては御用納め歳末の儀式を二十八日午後二時より行ひたるが定刻國分次官以下各高等官判任官同待遇者及び雇員一同は仁政殿東行閣に參集し高等官一同は李王職長官に對し皇室への歳末の御祝詞言上方を請ひ次で判任官以下代理國分次官に對し一同敬禮して御祝詞言上者より祝辭を述べ一同敬禮して次で李王李太王及び王世子各殿下に對する歳末の祝詞を述べ右畢て國分次官は受賀の旨宮內大臣へ上申方を總督に申請せり夫れより午後三時二十分次官及び御近侍奉仕の武官室官は內殿に伺候して李王殿下に歳末の祝詞を述べ同二時四十分李王職各高等官は同樣王殿下に伺候し官政殿に於て同樣仁政殿に於て同樣參入したる同德宮に參同し德弘殿に於て李太王殿下に祝詞を言上し更に二十九日東京の王世子殿下へ電報にて歳末の祝詞を申述べたり

◎小原長官訓示

小原農商工部長官は二十八日午前十一時長官室に於て部內判任官以上に對し事務上に關し一場の訓示を爲せり

◎神田秘書官罹病

東上中なる神田秘書官は[illegible]總督に隨[illegible]京中[illegible]病氣に罹りたるが加療の上歸任する由なりと

支那見聞談 その五
內藤湖南博士講演の梗概

即ち夫れは支那傳來の教へに依つて導かれた道德心の弛緩せる事であります數千年來の孔子の教が其和族の國體に果して合致するや否やを孔教會で吟味した事があります、斯んな狀態の間に在て外國人の教育宗教が漸次旺盛の域に進み大なる學校等を設立して支那人を教化して居る而して支那人自身も形は支那人でも心は米人になるのだと言て居る位で靑年會と云樣な者の勢力は非常なものである而して是れ程の程度迄支那人は勢力を得て居るかと云ふ事は支那人自身も分らず又問題に成つて居ない而かも破壞的の風潮は漸々居として支那人を風靡し各所に於て由緒ある祠堂とか像とか言ふものが遠慮もなく破壞され又は風雨の荒らすに任せてあるのを見るのは私達の最も遺憾とする所であります即ち湖南に於ける曾國藩の祠堂の如き、武昌黃鶴樓に於ける胡林翼の廟の如き其の祀る所は各々當代に於ける英傑國家の恩人にして其の地は由緒ある來歷を有する所なるに拘らず或は壞れ或は廢頹に委し徒らに近代流行の石像を羅列し或は人相見、寫眞屋の巢窟と化してゐる有樣であります曾國藩は湖南の人長髮賊の亂の際湖南を救ひ湖南の兵威を天下に輝かした人、胡林翼は湖北の巡撫で同じく長髮賊の亂に於ける功勞者であつた事は人の能く知る所であります、然かも斯かる人士の祠廟をすら放擲して顧みざる事は甚だ遺憾に値する所で何故荒らして置くのかと試に質問を發すれば維持するに經費無しと答へて洒然たるものであります由來支那では清朝の交代の時でも前代の名士は之れを以て之を罪せず夷狄の中から起つた朝廷でも從來の帝王を祭祀する事を怠らなかつた、清朝に於ても前代を引いた人に對しても尙清朝は之を優遇したのであります即ち上に清朝と云ふものでも有つた時には相當の禮を守り秩序を保て居たが現今は自分達の先輩或は其土地の民の功勞ある人に對しても甚だ酷であります即ち今日の支那人は甚だ無秩序となり其道德心は著しく變調を呈して居るのであります、斯んな狀態はとても永續はしまい又中央人士にして氣が付かずに居る事もあるまいけれども其の振興上何等實行あるなく又斷然せられる所が無いのであります北京の大學堂では從來あつた經科を廢止したと言ふ事であります苟くも學問道德の總てを含蓄して居る經學其の物を廢止すると云ふ事は從來まいと思ふ此の經科の撤廢に關しては一般士に不滿足の傾向もある樣に感じらるゝが斯んな狀態で兎角七年以前よりも非常に混亂して總ての振が後へ戻つて居る事を感じます即ち支那は其が目的とした努力を抛つて再び逆か既往の放漫な狀態に歸つたのであります私の少からず失望した所以であります

將軍の面 晴れやかに 新兵の健康佳良

松川軍司令官は西鮮地方を巡視して二十七日夜龍山に歸任されたが『今回の旅程は新義州、安東縣、龍岩浦引返へして平壤から鎭南浦へも廻つた

○平壤では今夏出張の際見殘したる寺洞の鑛業所、鎭南浦では久原製錬所、序に廣梁灣の天日鹽田を視察し、夫れから龍岡郡の溫井里に陸軍の療養所があるので、一寸其方へも立寄つた

○出張の目的は、追々寒氣が強くなつて來たので、新入營兵の健康狀態が何うであらうかと見に行つたのだが、其れが誠に良好であるので安心した、寒氣と云へば、新義州は寒むい處だね、アノ鴨綠江を渡つて來る朔風の冷さつたら實に猛烈だよ、然るに此岸にはそれを防ぐ丘阜すら無く、開け放しで正面に受けるのだから堪らない、其寒氣にもめげず、士卒の元氣旺盛だから欣ばしいと將軍は滿面に喜色を湛へて晴れやかに語つた

人事消息

▲岡部元松氏[illegible]廿八日夜[illegible]
▲荻田總林局長 廿八日[illegible]
▲工藤總務課長 同上[illegible]
▲岡本警視 二十九日[illegible]

[illegible]

[illegible]第四十帝國議會も愈々開會せられた衆議院では最年少者を標準として部長理事の互選をやるのであるが▲貴族院では最年長者[illegible]は衆議院と反對の結果になる事が有る▲今度の貴族院の部長理事を見ても正親町伯と平田子とを除くと部長は皆な二十代若くは三十代の人々で▲理事は前田子を除くと明年の一月に天盃を戴く德川子を筆頭として松岡男石黑男六十代若くは七十代である▲平田子と前田子とが親類同士で第八部長と理事になつて居るのも鳥渡珍らしい▲今夏の特別議會召集日の第一着として午前五時三十分と云ふに馳せ付けた松本誠之君が途徹もない記錄を作つてアッと云はせたが▲今度の第一着は午前八時二十七分の赤木龜一君で流石の松本君も凍れる曉闇を衝くの勇氣もなかつたのか午前九時にヒヨツコリ顏を突き出したので守衞も妙な笑ひを洩して居たとか▲富田元田肇君は『老雄心事果如何。苦鬪十年獨撥河。日比谷原頭天欲雪。堆看累々髑髏多』と賦し感慨深き姿であつたが▲野田大塊翁は『これ見よと慈母の教へや冬の梅』と俳句つてウワツハヽヽ

新年開運號 婦人之友 本日出來

家庭開運双六 (四色刷石版)
特別新春家事繪卷 (中澤弘光筆)
新口繪 新しき歌
新年大附錄 (羽仁もと子 君島柳三 案)
幸運の機會
廿三年ぶりに子供を得て 棟居喜九馬
娘を縁づけるまで
幸運の鍵をたづねて 卷頭の大文字 羽仁主筆
開運の光 三宅博士
內助が家運を開くも閉るも妻の力次第
實際讀物
長篇小說 野茨 德田秋聲
歷史小說 淀君 中里介山
西洋小說 アンナカレニナ
本號特價廿五錢 半年分稅共一圓卅錢
東京雜司ケ谷 振替東京壹六〇〇 婦人之友社

明治大學廣告

本學出身者中今般官省ノ試驗及第者左ノ如シ
此段校友諸君ニ告ク

○文官高等試驗及第者
松本儀之助 [illegible]

○判檢事登用試驗及第者(及第者全員五十八名中)
谷口利三郎 日野谷宇市 [illegible]

○辯護士試驗及第者(及第者全員百十九名中)
[illegible]

大正六年十二月
東京神田駿河臺 明治大學

酒 清長醇
釀造發賣元 大阪府堺市 𠮷塚源次郎
京城本町一丁目(電話長二九番) 特約販賣店 佐藤牧太郎

冬物賣出し
軍隊 鐵道 拂下品被服類
防寒襦袢、袴下、手袋、靴下、外套
和服類中古品
和洋衣服商 金子奧市商店 振替京城三八三一番

貴金屬品 其他新著 時計各種
十二月三十一日まで 割引販賣仕候
仁川本町 糸岐商店 電話三七〇番 振替京城七一番

漆器 指物
丸五漆器店 京城出張所 京城本町二丁目

歳暮賣出し
新菓茶入羊羹 梅ケ香 新荷著
京城明治町二丁目 宇治屋茶舖

は相場騰貴の一因となりて當時 貫目に付棒鐵二〇圓普通鐵板厚物 五十圓屆物三十七八圓を呼ぶ殆ど ノンクバー、ノ及び其他一般鐵は禁止以前と同樣輸入し得たるを以て市場は漸次落付模樣となり相十圓見當の唱へなり而して本年は最早餘日少く需要増加の見込もなけり に在庫品の減少と相俟ちて市場品需要増大し盛讓を告げ再び相場の昂騰を誘起す

黒(日本里)の上流を更に五里朔鮮側の支流を行きたる地點にて牛車を以て江畔まで輸送し冬季は橇の もの噸三圓餘にて橇は七圓餘となる鑛業經營者の言に據れば同鑛區鑛は東京に於て今回賣鑛が原鑛は既に五百噸餘出元に搬り出し居り安東にも少量輸送し來れりと

來りたるも斯くなするにおては毎月課税價格の變更を來し且つ其の實期間短きに過ぎ商取引の實際に適せざる嫌あり輸移出貿易業者の石數を乘じたる價格の總計を一箇年間に於ける輸移出總石數にて除したる一石當り平均價格を以て今後六箇月間の課税價格と定め間を期し右の課税を爲すべし而してに大正七年二月末日迄は從來の通り各港市場に於ける市價を標準として其課税價格を定むるは勿論也

冬宮乘取の一幕 (五)
若き愛國者の骸

要塞牢へ拘禁しろッ=慘鼻の屍體=彼得帝の銅像前=乘取の幕は閉ぢろ=眞相は傳はらぬ=冷酷無情のケレンスキー=涙を呑んで降伏=閣員の投獄=河へ投込め=

午前二時頃であつたかと思ふ十八人許りの士官候補生は暴兵に取卷かれて私の立つて居る基山王記念塔の前に來た『オイ貴樣等は機關砲を撃つたらう』『イヤ撃たぬ』と婦人兵が『然うだ』之を聞いた曹長は『ソレ婦人兵を捕縛しろ！此犬ころ共はペトロボロの要塞牢へ拘禁しろッ！諸君突貫!!』と暴風の如く

▽冬宮内に闖入 した、それとも知らぬ婦人兵の一團は全く武裝を解いて正門から出て來ると突然暴兵の包圍する處となり二三語激しく言爭ふよと見る間に『捕縛！』と何者かゞ命令を降せば格鬪は一時に起つて悲鳴叫喚は闇を劈いて各所に響く。哀れや死を賭して最後まで闘つた婦人兵も

▽衆寡敵せず暴 兵飽くなき過激派兵士の爲めに凌辱を蒙つて酒家の一隅に、旅舘の一室に、ネバ河に、冬宮内廣場に、街頭に、慘鼻極まる屍體を曝したのであつた、此の殘忍極りなき暴狀を見た士官候補生の一團は敵の重圍を衝いて冬宮内彼得帝銅像前まで逃げ延びたが遂ひに悉く捕はれて虐殺さるゝ處となつた、若き愛國者の骸は空しく霜を亂して倒れ、その熱血は無慘にも

▽璧を紅に染めて 茲に暴理勢一揆の冬宮乘取の一幕は閉ぢられたのであるが當時の新聞紙はレーニン一派の壓迫を蒙つて此慘虐の異相を報道する事は出來なかつた、從つて死傷數すら世間に發表されなかつたが親しく當時の模樣を見た私は未だに戰爭を禁ずる事が出來ない之より先ケレンスキーは形勢不穩なるを見て取つて士官候補生及び婦人兵に對し『余は一先づ

▽冬宮を拔出して 應援隊を率ゐ過激派の背後を襲擊するから其迄防戰せよ』と言殘して王の村さして落ち延びた、然るに二時間三時間を經るも應援隊の來る模樣は無かつた冬宮が危機一髮の時に際してもケレンスキーから何等の通報もなかつた、士官候補生も婦人兵も齊しくケレンスキーの冷酷無情を怨みつゝ

▽涙を嚥んで 過激派に降伏したそして此慘虐に遇つたキシユキン其他の閣員も又開城と共に捕はれて徒歩で要塞牢まで送られたが彼等は其の途中醉漢や水兵に幾度かケレンスキーを出せと脅迫されたネバ河のトロイツキ橋にさしかゝるや河に投込めと叫ぶものもあつた『然も吾等の復活する日は遠きに非ず』と確信して居る閣員及び士官等は從容として要塞牢に引かれた斯くて廿六日の夜は明放れると暗黯なペテログラードは

▽險惡な雲霧に 閉ざされて數日間は晴るゝ日とて無かつた騎兵學校士官學校專門學校の生徒は母校を枕と覺悟して過激派の軍隊と奮戰した勝誇つた過激派の軍隊は到る處で掠奪を恣にする傍若無人な振舞は傳はる毎に人々は

▽露國が奈落の 底へ陷ち行くかのやうに恐怖と憂愁の眉を顰めた(完)

士官候補生の虐殺された彼得帝銅像附近

◎李王世子 御招宴第二日

李王世子殿下には二十八日正午霞ヶ關離宮にて石原宮內次官田中參謀次長以下を招待任官の御披露ありたり(東京特電)

◎富山市役所崩壞
雪に苦しむ北陸地方 =敦賀附近も交通杜絶=

北陸線の除雪容易に進捗せず杉津大堀間は猶開通の見込立たず石川富山兩縣は何れも積雪に苦しめるが二十七日夜富山市役所は積雪の重嶽に堪へず屋根墜落二階を突き拔き四邊の壁を毀せるのみ街降雪歇まず敦賀附近も交通杜絶せり(大阪特電)

◎年賀狀の最大記錄
爲替貯金も昨年の二倍以上

既報の通り京城郵便局に於ける郵便事務は近年にない繁忙を極めつゝ有るが押詰つた二三日來の狀況を聞くに特別扱の年賀狀は十五日より廿七日迄の十三日間に四十六萬通に達し昨年同期間に比較すれば

◇約十五萬通 の増加を見るに至つた、年賀狀の多いのは熊本商店の一萬通を最多として人參販賣業者の五千乃至三千から一二千のものも尠くない、何分經濟界が非常の好況を呈して居るから

◆奇拔のもの の中には實業家方面には年賀狀を商業用に利用するものが多く往復はがきを千通も出した商店がある電報の拔商は商業用年末決濟其他の關係上年末になると急に增加するものであるが本年は近年にない繁忙を極めて廿七日の如き一萬七千通に達した此れを昨年の廿七日に較べると四千通多く昨年中の最高記錄の三十日に比較するも尙且つ二千通多いから

◇大晦日に近 づくに隨つて京城局始まつて以來の記錄を示すに至るであらう爲替貯金も昨年は一日から廿七日までに窓口の出入高が百七十三萬圓であつたが本年は三百六十八萬圓餘に二倍以上に達したさうだ取引狀態が如何に急激に膨大し來つたかを窺ふに足るであらう

◆故青山博士の後任問題
果して誰?

青山博士も遂に逝去した、次で起るべき問題は博士の後任である「醫科の青山か青山の醫科」かとまで云はれた程であるから誰が其後を受襲にしても頗る面倒であらう其の人選は愈て大學の教授會に於いて決定さるゝ筈であるが果して何人が推薦さるゝか

◎某消息通は 語つて曰く『青山博士死して青山博士無く到底博士に匹敵する程の學者はない學長は隈川博士依然其職に留まるとしても青山博士の遺任してゐた講座及び從來の青山内科には是非誰か適任者を選ばなければならぬ所で現在の教授連を見渡した所で分博士達も多いが何れも專門の學問が違つてゐるから

◎青山博士の 後任としてはどうしても同博士の門下から選ぶより他ないが而して博士の門下生として一番嘱目されてゐるのは宮本淑博士である其學識手腕に於て最も適任で現に助教授として青山博士の病中も時々代はつて講座を擔任してゐたが併し博士は永樂病院長に

◎駒込病院長 として非常に忙しい體で殊に駒込の避病院には無くてならぬ大切な人であるから若し推選されても果して東京市で手放すか何うか頗る疑問である

次に同じく門下生として嘱目されてゐるのは九州大學の稻田龍吉博士である同博士は彼のワイルズ氏病の病原發見に依つて學士會から

◎表彰された 程で青山博士の後任者としては決して其名を恥かしむる人では無いが近來九州では大分名高くなつてゐるからオイ夫と承諾するかどうか之を怪しい者だ更にずつと若い所では兵藤嘉一郎氏がある氏は三十八年の卒業で未だ博士にはならぬが青山博士の門下生中

◎最も優れた 秀才で論文さへ出せば今日にも博士になれる學者であるが眼中に博士の地位など無く只孜々として研究を續けて當代稀に見る篤學者である且凡ての行動はよく青山博士に似てゐて單に學識より云へば誰も異論はあるまいが併し先輩が多いから將來は知らず今の處未だ氏に廻つて來ようとは思はれぬ其に氏は

◎大學病院で 物理的のX光線とか電氣療法の方を主として研究中である又青山博士の養嗣子織識博士の實兄たる東北大學の熊谷岱藏博士も門下生の一人で四十[illegible]業で[illegible]上つてゐる樣だ[illegible]から云つても[illegible]に若い[illegible]から如何に[illegible]の多い醫學界でも[illegible]か熊谷博士を推すやうな事はあるまい何れ傳染病研究所の[illegible]博士も噂されてゐるが如何に同博士には青山博士の系統に屬する人でも專門が藥物學で全然異るから問題ではない(東京)

◎政治狂
議會を騒がす 大喝して花札を撒く

二十八日午前十一時半衆議院本會議休憩中西側傍聽席に在りたる年齡三十八、九歲の壯漢新聞記者席に降り來り卓上に仁王立ちとなりて『日本に憲政擁護なるものか』と大喝して懷中より數十枚の花札を取り出し國民黨議員席に撒き散らしたるより數名の守衛狀を取圍みて引致し去りたるが此は石川縣石川郡御手洗村德村與一(三二)と稱する政治狂にて其筋にても豫て注意中なりし者なり(東京特電)

◎昌德宮燒失 責任者懲戒

昌德宮燒失の責任者たる李王職贊侍に對し廿八日左の處分ありたり(東京特電)

李王職贊侍 李喬永

本年十一月十日昌德宮內殿より出火し遂に其全部を燒き盡し且つ御眞影も之を奉遷する事能はざりしは監督不周到の致す處なり依て宮內官懲戒令に依り三箇月間俸月額十分一の減俸に處す

◎脫走士官
朝鮮を通過して北へ

長崎碇泊中の露國巡洋艦アリヨール號乘組員士官三十二名下士卒二百餘名中レーニン一派と氣脈を通ずる者夥しく將校に反感を懷きつゝありしが去日士官候補生ストロジコフ、アルチミエフ、トルロジエフスキー、ミヤスコスキー、スコロボトフの五名或る酒場にて乾盃中露帝日本亡命說を耳にし『露帝萬歲！』を絕叫したるに過激派の下士卒は前記五名に

▼各自死刑を 宣告し狙擊せんとしたるを以つて五名は本月十一日脫艦して長崎市デルビョフホテルに隱れ居たるが過激派の者は嚴重に五名の行衞を搜索し發見せば制裁を加へんと意氣卷く有樣に五名は辛じて東上しハミムルホテルに隱れ居たる內駐日露國大使クルベンスキ氏が全世界は過激派より成る政府を認め居らず我々國民は須く前政府の國民たりと豪語して前記五名の

▼亡命士官の 意を强くせしめたるが前記五名の內露國貴族士官アルテミエフ(二九)は駐日大使の下附せる旅行免狀を所持し去る二十七日午前入港の高麗丸にて來釜したるを以て釜山警察署にては一應本署へ同行の上取調を爲し上司の命に依り同夜十一時半發急行列車にて北行したるが同人は本國政府の命令に依り歸國するものなりとて東京長春間の三等切符を所持し居たり(釜山)

◎昌慶苑の閉館

昌慶苑動植物園博物館は二十日より閉館し明年一月四日より例休館日なる月曜木曜及び日曜祭日翌日の外引續き開館すべし

◎元代議士は四年

元京都迎業銀行頭取元代議士竹井熊太郎は懲役四年の裁判確定し京都監獄へ收容されたり(大阪特電)

正月の松 未生流 朗陽齋

◎不正漁夫處罰

慶南蔚山郡にて十一月初旬檢擧されたる不正漁夫龜崎倉雄、同義雄の兩名は蔚山支廳にて十二月二十一日各懲役九箇月に高木末吉、吉田常次、吉田常吉の三名は各四箇月に處せられたり

◎柔道稽古納め 講道館朝鮮支部

講道館朝鮮支部に於ては二十七日を以て本年の柔道稽古納めとし一月五日稽古始式を行ひ七日以降毎日午後六時より平常の如く練習を開始し一月十一日より三十日迄寒稽古を擧行する由尙入門は來る一月十日迄取扱ふべきに付志望者は入門手續を南大門通觀水洞一四五番地府廳付方講道館朝鮮支部事務所に照會すべしと

◎昨夜の月蝕
京城の食甚一分六厘

二十八日の月蝕は京城では午後五時十五分左偏下より始まり同八時二十分右偏下に終つて原形に復した、食甚即ち最も多く虧けた時は六時四十分であるが全體の一分六厘であるからあまり大した事は無い、朝鮮で虧け方の最も多い所は仁川の一分七厘で釜山は一分三厘である、西に行く程虧け方が多くなつて臺北では八分三厘、其他西に行けば皆虧が見られる、本年は今回が三回目で第一回は一月八日第二回は七月の五日にあつた、昨夜も京城は始めは煙霧の爲め充分觀測は出來なかつた(京城測候所談)

◎愛婦名刺交換會

愛國婦人會朝鮮本部に於ては一月七日正午京城ホテルに於て例年の通り名刺交換會を行ふ筈なるが當日は各種の餘興もある可く會費は金壹圓なりと

◎琴古流尺八研究所

京城琴古流尺八研究所にては今回理事會の互選に依り[illegible]高部玉樞氏教授に[illegible]玉樞氏擔任することに決定せられ一月九日より開始する由

◎元山名物蟹醢から

[illegible]元山名物『かきしほから』は[illegible]一箇[illegible]二十五錢[illegible]提供すべしと

うわさのうわさ

去十七日龍山小學校で同校生徒佐藤靖が教室備付けのストーブで火傷して無慘な死を見た椿事は當時に報道したことである▲その際に年級受持訓導高橋清一氏は手に大火傷をしたのであつたがその後治療に手を盡したけれど終に片手の自由を失ふ樣になるかも知れぬとは實に氣の毒な次第である▲『水道の共用栓が氷結したか何うかして給水止の札が掛つてゐる處がチョイ〳〵あるので此年末に際して困つて居る下級民が少くない▲毎年冬になると此有樣では實際遣り切れぬ何うかして貰ひ度い』とは『賤女』よりの投書▲又『水道敷設後京城で見ることが出來無くなつた名物の朝鮮人水賣が此冬復活してギユツ〳〵と小路を往來する音が聞え出した一層冬だけは水を買ふて飲む方法を講じて貰つた方が便利である』とは『溫突住生』から

京城府告示第十九號
來ル大正七年一月一日當廳ニ於テ新年御眞影拜賀式擧行候條同日午前九時三十分ヨリ十時三十分迄ノ間ニ於テ府民一般隨意拜賀セラルヘシ
但シ服裝ハ『フロックコート』若ハ紋付羽織袴トス朝鮮人ニアリテハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ
大正六年十二月廿八日 朝鮮總督府府尹 金谷充

購買 土地調查局 各種 [illegible] 朝鮮官報ニアリ

旅行中に付年末年始の御挨拶缺禮仕候 松本正寬

鮮人夫引率內地旅行に付年末年始の禮を缺く 京城[illegible]八番地 陸軍用達 金川商行 小川隼人

最新刊 (著者 定價)
朝鮮の冬と防寒法 矢野圓太 三五
[illegible]ロゼンタン原流記 平山譯 二四〇
[illegible] 乃道小樹一郎譯 一四〇
新案記憶字引 八〇
大正七年國民年鑑 六五
前混凝土設計法 三〇〇
[illegible]國 宰集 津田敬于 一〇〇
支那の眞相 法學士大河平隆光 一七〇
かるた色々
レディース ブック 八〇
英譯獨步選集 九五
緬甸 銃後 一〇〇
緬甸 肉彈 七〇〇
長篇小說 夕潮 八五
海の愛 一〇〇
大野屋利兵衞 一三〇
小說 孔雀草 前篇 一三〇
小說 七色珊瑚 前篇 一三〇
[illegible] 留 那 一二〇
大阪屋號書店 京城本町[illegible]

京日案內
普通 … 番外
一回前金[illegible]
京城太平通[illegible] 富田屋
尺八(都山流)時價六十圓 右安價に讓りたし 京城黃金町三丁目三四四 永樂町二東小路 199
委託品擔保貸付 雜貨引受けたし 京城明治町二丁目 淡路屋 195
新古本 高價買受 御報參上 明治町通 野村書店 電話三〇五〇番 100
番外 商品切手 賣買仕候 便利に 京城永樂町二丁目五番地 丸五商會 電話一四九八番 170
恩給 年金 長期 低利 即時 立替 三年分迄保險を要せず手數極安 京城日の出町十一 日の出學校裏門前 吉田屋 175

實業之日本社 三大日記
大正七年 重要日記 △定價五拾錢 送料八錢 四六判總布美本
大正七年 懷中ノート △特製 定價四拾錢 △並製 定價廿五錢 送料二錢 總皮製小型 送料二錢 總布小型
大正七年 婦人日記 △定價四十五錢 送料八錢 四六判總布美本
東京京橋南紺屋町 實業之日本社發行 振東京三二六

油斷すれば忽ち全部の賣切れとなる市場最良の日記を望まば今日只今我社の日記を求めよ

山縣政務總監閣下題字 德富蘇峰先生題字 關屋學務局長閣下序文 京城日報社長 阿部充家氏序文 朝鮮公論社長 牧山耕藏氏序文 衆議院議員 朝鮮新聞社長 萩谷籌夫氏序文
有馬易水著 人物評論 眞物?贋物? 四六判總クロース金文字裝幀 極美寫眞銅版人物八十[illegible] 價金[illegible]
本書は朝鮮幕政府爲特に人物評論を以て著述せる著者が各方面の代表的人物を拉し來つて或は表裏に[illegible]くて厳正『裁斷する處』[illegible]縱横『無遠慮深刻』肉を刺し骨に徹する[illegible]一度び手にすれば人物各個の眞價を[illegible]沿革自ら領會するもの[illegible]
發行所 京城太平通二丁目 朝鮮公論社

開業御披露
京城著名の料亭喜久家の開業以來愈下を以て皆樣の御機嫌を向ひ居候不肖及仲居たりしおツネと共に今回左記の場所にて京喜久と銘打て有らん限りの腕を揮つて皆樣の御滿足を謀り可申年末に際し重話並に忘年會、新年宴會の如きは特に勉强御便利を相計り可申候間是非一回御試しの爲め御運びの程偏に希上候
京城府旭町二丁目 元常盤旅館跡 京喜久 電話二三一五番

小島捕用 カスミ網 (極上絹糸製) 〇其他雁鴨兎網無双網等種々あり 高さ六尺三間一棚 橫巾 高さ六尺二間半 橫巾三間 五間四圓 京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三六番

櫻御殿

第百九回　大阪霞の家主人

編笠浪人（三）

利右衛門が飛び込んで、門口を出やうとすると、若黨に四目菱の定紋つけた提燈を持たせ、二人の仲間を供につれた立派な武士が這つて來た、利右衛門は訝んで立ち止まる

『率爾ながら一寸お尋ね致しますが、其方様は風早様ぢやございませんか』

『手前、風早利右衛門ぢや、お身は何れから參られた』

提燈を持つた若黨はまづ訊ねた若黨は引き返して、野袴に肥後作りの兩刀を佩した主人に告げると、まだ三十に手の屆かねらしい武士は、僅かに前へ出て

『貴殿が風早殿か、身共は渡邊内藏介殿御内、石川民部と申す者でござる』と慇懃に口上した

『石川民部殿、つひに御姓名を承はつたことがない、何か御用でござり申すか』

利右衛門は立つたまゝで云ふ、僅かなる月が生駒山の頂へ出て、この不思議の出會を照らす

『ちと、御意得たいことがある、お差し支へござるまいか』

『手前に？』

『御意ぢや』

『さらば此へ』と利右衛門は前へ立つ

桐島は漸と安堵して、胸を撫でながら出迎へる

『免し召され』と民部は上る、黒く焦げたやうになつた襖の表が所々破れて、そこに秋の様が見ゑた

『他ではないが、主人内藏介殿、貴殿御高名を聞き及ばれ、是非内府公へ御推擧申し上げたいと仰せなさる、御知行はお望み次第、御承知下さらばすぐ様も落らせよう』

『その御意ぢや、御承諾下さるまいか』

こゝに内府公と云ふは秀頼の事である、家康が征夷大將軍を拜すると、秀頼は内大臣に叙せられた

利右衛門は默つて居た、桐島は妄想らしく續けた天目茶碗に茶を酌んで出した

『我一御身分等にお望みもあらば主人内藏介及ばずながら骨を折りいかようとも計ひ申す、何は然れ一應内藏介にお逢ひ下さるまいか』

『大阪のお城には日の明いたお方がないと見ゆる』

利右衛門の挨拶はこれであつた

『御口上ではござるが、目の明いた方があればこそ、斯様な茅屋に貴殿の如き偉丈夫の住はせたまふを見知らせられて、身共を使ひに遣はされたのぢや』

『いや、形を見るお目は無いと見ゆる、心を見る目はあつても、と』

利右衛門は胸毛の深い胸を打つて『この心は一ぢや、率爾ながら二は持たない』

『すると、御承引はござらぬか』

『生きて二君に事ふるを、武士の道では恥辱と致す、餓死致すとも恥は取らない、折角ぢやが平に斷はる』

『さもござらう、貴殿の御氣象では、爾う思召すに無理はござらぬ、されど士は己を知る者の爲めに死ぬる、内藏介儀深く貴殿を知り申すに由つて、一方の將頭をお願ひ申さうとある、殊に大阪のお城は太閤殿下御根城、まことに天下の名城ぢや、武士として、こゝに一方を守護するは、此の上もない名譽でござらう』

民部は言葉を盡して說いた、桐島は天の間から伏拜みて

『どうぞお父様の御納得遊ばすやうに……八幡様大神様、お願ひでございます』と祈念した

石炭各種　京城太平通二丁目　西崎商會　電話七二七番

□冷水摩擦

抵抗力さへ養つて置けば滅多に風邪は引くものではありません、薄着をしさへすれば風邪を引かぬやうに心得るのは大間違ひで人間の皮膚の表面の温度は裸體で居ると平均三十度八分ですがメリヤス襯衣のシヤツ一枚着ると廿八度五分と下り其上にワイシヤツ一枚着けると廿四度八分と下り多チヨキ一枚……のです。斯くすれば一週間位で全身摩擦を行ふのです、斯うすると今迄之をやつた事のない人は寒ひ知れぬ快感を覺ゆるとて、次の日は湯を少しぬるくし其次の日は更に温度を低くし次日に更にぬるくして遂に水で摩擦するやうにするのです。斯くすれば一週間位で冷水摩擦をして快感を感ぜしめるのみか却つて快感を感じるやうになります、風邪引きの豫防法として未だ冷水摩擦を知らぬ人に此方法をお勸めします

寫眞　京城日報社　寫眞製版部

◇誰も知

……

富の道しるべ　村上唯吉著　京城日報社代理部

痔疾專門　京城久枝肛門病院　京城明治町二丁目（本町より入る中程）　入院隨意　電話二一〇二番

……を其上に著ると廿二度四分となりメルトンの上衣を著ると十九度四分となり更に外套を著ると十七度一分となるとは專門の學者の話です、即ち衣服を重ねれば重ねる程體温を放散する事が減ずるので

◇皮膚面

の温度が低下するのです、斯の如く衣服は僅か一枚……

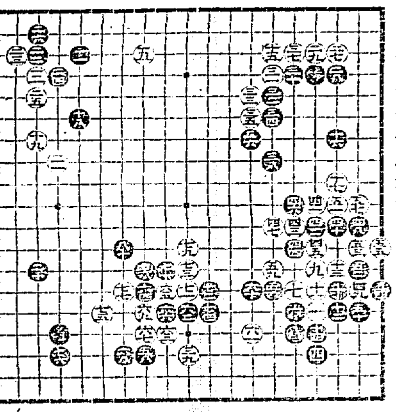
▲書籍御案内▼
徳富蘇峰著　世界の變局
國民新聞社編　理想の家庭
早川貞水　義士傳
同　自然と人生
同　青山白雲
京城日報代理部（振替京城三〇〇）

碁戰

十番碁第三局の四

三段　山平番平氏　二子　大久保雅彦氏

白ト六十六より黒ワ十（一）八（一）二十の八（十一）手迄



純金指環御安政升　責任保證　京城本町一丁目　友助堂時計舖

防寒靴　毛皮なめし　大阪屋

業務親切　片山質店

釜山商店案内

釜山　ミヤヤ商店

内外雜貨　令物揃荷　近藤商店　京城本町三丁目

雜貨卸問屋

米穀調製器　農具　朝鮮勸農商會　販賣

長岡商店

洋酒罐詰卸商　釜山長手通　あづまや商店　振替京城三九番

天覧台覧　蘇峰文選
明治大正年間の一大産物！
發行所　東京民友社　總クロース上製函入　菊版一千五百餘頁　定價金三圓五十錢　特價金三圓
賣捌所　京城日報社代理部

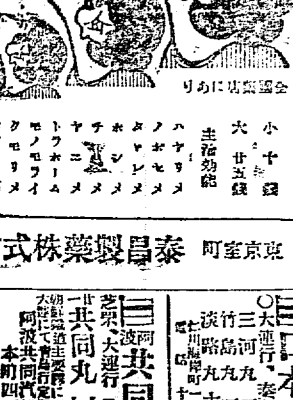
髮は手入　髮の良き人には愈良く、惡き人も毛髮を黑さとする　ホーカー美髪液

特許機械製　ほまれみそ　於第八回日本産業博覽會　銀牌受領　仁川府松林里　釀造元　日本醬油株式會社

▲歲暮賣出▼　最高尚なる年末年始の御贈答品

大日本政府登錄商標 "PINE"
パイン萬年筆
優美なる函入調製　▲本年中定價の壹割引
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕
發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部　電話三二六、六六◎構内一八番

目薬アドラ
瓶は小くもキヽメは一等
アドラ目薬は醫學博士高峰先生發見の世界的殺菌藥アドレナリンを主藥とす　どんな眼病にも不思議な程よくきく
東京室町　泰昌製藥株式會社



白神洋行　ペイント、油類、セメント、コークス、モルタル、スコツプ、シヤブル、鐵材、浪板、平板、針金、洋釘

小兒科　内科　入院隨意　無料施療す　醫學博士 古城憲治　上野亮藏　賛化病院　京城明治町一丁目

釜山出帆廣告

日本郵船出帆

共同汽船出帆

尼崎汽船出帆

開自動車著發時刻　金泉支部

朝鮮郵船出帆

大阪商船株式會社汽船出帆廣告

露獨講和如何

……和を行はんとせば何時にても之を行ひ得べき形勢と爲り居れり兩國の休戰狀態に入りたるは事實にて之を伊國方面に振向くるを得る……
……聯合軍の恃む所は米國……